

# 横浜国立大学大学院 環境情報学府

## 履 修 案 内

人工環境専攻  
自然環境専攻  
情報環境専攻

平成30年度

## 目次

I	横浜国立大学大学院環境情報学府の概要	- 4 -
1	博士課程設置趣旨	- 4 -
2	専攻と教育プログラム	- 4 -
II	授業科目の履修・成績等について	- 7 -
1	授業の開講方法	- 7 -
2	履修登録関係	- 7 -
3	成績関係	- 8 -
4	試験週間要領	- 9 -
5	短縮修了について	- 9 -
6	副専攻プログラムについて	- 10 -
7	英語スキルアップ研修プログラムについて	- 10 -
III	環境情報学府の指導教員（平成30年4月現在）	- 12 -
IV	履修基準及び授業科目	- 13 -
1	前期課程	- 13 -
2	後期課程	- 26 -
V	社会人学生の履修等に関する特例について	- 33 -
1	長期履修について	- 33 -
2	修学について	- 33 -
3	履修について	- 33 -
VI	教務関係諸手続	- 34 -
1	証明書の発行について	- 34 -
2	休学、復学、退学、他大学受験について	- 34 -
3	諸届出について	- 35 -
4	修了後の諸証明書の交付手続について	- 36 -
VII	教員連絡先一覧	- 37 -
1	専任教員（50音順）	- 37 -
2	非常勤講師	- 40 -
VIII	環境情報学府の学生相談関係教員	- 41 -
IX	その他	- 42 -

平成30年度(2018年度)学事暦 <履修案内用>

学期・ターム・月		日	月	火	水	木	金	土		
春学期	第1ターム	4月	1	2	3	4	5	6	7	4/3(火)入学式
			8	9	10	11	12	13	14	4/4(水)英語プレースメントテスト(1年生のみ)
			15	16	17	18	19	20	21	4/6(金)~8/3(金)春学期(セメスター科目)
			22	23	24	25	26	27	28	4/6(金)~6/7(木)春学期前半(第1ターム科目)
			29	30						4/13(金)~4/20(金)履修登録期間(土日除く)
	5月	6	7	8	9	10	11	12	5/1(火)~5/2(水)は授業を行わない	
		13	14	15	16	17	18	19	5/7(月)~5/9(水)履修登録確認・訂正期間	
		20	21	22	23	24	25	26	5/14(月)~5/18(金)履修登録キャンセル期間	
		27	28	29	30	31			5/19(土)~5/20(日)清陵祭(5/19(土)は準備を含む)	
							1	2		
	第2ターム	6月	3	4	5	6	7	8	9	6/1(金)~6/7(木)第1ターム試験期間 (セメスター科目は通常授業)
			10	11	12	13	14	15	16	6/8(金)~8/3(金)春学期後半(第2ターム科目)
			17	18	19	20	21	22	23	6/25(月)~6/29(金)履修登録キャンセル期間 (第2ターム科目)
			24	25	26	27	28	29	30	
		7月	1	2	3	4	5	6	7	
			8	9	10	11	12	13	14	7/16(月)は授業を行う(祝休日開講日)
			15	16	17	18	19	20	21	
			22	23	24	25	26	27	28	7/27(金)~8/3(金)春学期・第2ターム試験期間 (8/3(金)は試験の予備日)
			29	30	31					
						1	2	3	4	8/4(土)~9/30(日)夏季休業期間(第3ターム)
	第3ターム	8月	5	6	7	8	9	10	11	
			12	13	14	15	16	17	18	
			19	20	21	22	23	24	25	
			26	27	28	29	30	31		
9月		2	3	4	5	6	7	8		
		9	10	11	12	13	14	15		
		16	17	18	19	20	21	22		
		23	24	25	26	27	28	29		
秋学期	第4ターム	10月	1	2	3	4	5	6	10/3(水)秋季入学式(予定)	
			7	8	9	10	11	12	13	10/5(金)~2/12(火)秋学期(セメスター科目)
			14	15	16	17	18	19	20	10/5(金)~11/30(金)秋学期前半(第4ターム科目)
			21	22	23	24	25	26	27	10/12(金)~10/19(金)履修登録期間(土日除く)
			28	29	30	31				10/8(月)は授業を行う(祝休日開講日)
		11月	4	5	6	7	8	9	10	10/24(水)~10/26(金)履修登録確認・訂正期間
			11	12	13	14	15	16	17	11/2(金)~11/4(日)常盤祭(11/2(金)は準備を含む)
			18	19	20	21	22	23	24	11/5(月)~11/9(金)履修登録キャンセル期間
			25	26	27	28	29	30		11/10(土)~11/11(日)大学入学共通テスト・プレテスト
										11/23(祝)は授業を行う(祝休日開講日)
	第5ターム	12月	2	3	4	5	6	7	8	11/26(月)~11/30(金)第4ターム試験期間 (セメスター科目は通常授業)
			9	10	11	12	13	14	15	12/3(月)~2/12(火)秋学期後半(第5ターム科目)
			16	17	18	19	20	21	22	12/17(月)~12/21(金)履修登録キャンセル期間 (第5ターム科目)
			23	24	25	26	27	28	29	12/25(火)は月曜日の授業を行う(授業振替日)
			30	31						12/26(水)~1/3(木)冬季休業期間
		1月	6	7	8	9	10	11	12	
			13	14	15	16	17	18	19	1/18(金)~1/20(日)大学入試センター試験休業日 (1/19及び1/20は大学構内入構不可)
			20	21	22	23	24	25	26	
			27	28	29	30	31			
								1	2	2/4(月)~2/12(火)秋学期・第5ターム試験期間 (2/12(火)は試験の予備日)
	第6ターム	2月	3	4	5	6	7	8	9	2/13(水)英語統一テスト(英語LR)試験日
			10	11	12	13	14	15	16	2/14(木)~3/31(日)春季休業期間(第6ターム)
			17	18	19	20	21	22	23	
			24	25	26	27	28			
3月		3	4	5	6	7	8	9	2/25(月)前期日程試験(大学構内入構規制)	
		10	11	12	13	14	15	16	3/12(火)後期日程試験(大学構内入構規制)	
		17	18	19	20	21	22	23		
		24	25	26	27	28	29	30	3/26(火)卒業式・修了式(予定)	

28 試験期間
 29 試験期間(予備日)

/ 英語統一テスト・プレースメントテスト

◇ 授業振替日

□ 祝休日開講日

平成30年度（2018年度）学事暦

事 項	期 日 又 は 期 間	備 考
春季休業期間	4月1日(日)～4月5日(木)	
入学式	4月3日(火)	
英語プレースメント(統一)テスト	4月4日(水)	1年生のみ
春学期開講	4月6日(金)	※1
春学期前半(第1ターム)	4月6日(金)～6月7日(木)	
授業休講期間	5月1日(火)～5月2日(水)	
補講週間	5月14日(月)～5月18日(金)	※2
清陵祭	5月19日(土)～5月20日(日) (5月19日(土)は準備を含む)	
開学記念日	6月1日(金)	
第1ターム試験期間	6月1日(金)～6月7日(木)	※3
春学期後半(第2ターム)	6月8日(金)～8月3日(金)	
補講週間	7月9日(月)～7月13日(金)	※2
祝休日開講日	7月16日(月・祝)	
春学期・第2ターム試験期間	7月27日(金)～8月3日(金) (8月3日(金)は試験の予備日)	※3
夏季休業期間(第3ターム)	8月4日(土)～9月30日(日)	(予定)
秋季卒業式・修了式	9月14日(金)	
春学期終講	9月30日(日)	
夏季休業期間	10月1日(月)～10月4日(木)	
秋季入学式	10月3日(水)	(予定)
秋学期開講	10月5日(金)	※4
秋学期前半(第4ターム)	10月5日(金)～11月30日(金)	
祝休日開講日	10月8日(月・祝)	
常盤祭	11月2日(金)～11月4日(日) (11月2日(金)は準備を含む)	
補講週間	11月5日(月)～11月9日(金)	※2
大学入学共通テスト・プレテスト	11月10日(土)～11月11日(日)	
祝休日開講日	11月23日(金・祝)	※3
第4ターム試験期間	11月26日(月)～11月30日(金)	
秋学期後半(第5ターム)	12月3日(月)～2月12日(火)	※5
授業振替日	12月25日(火)	
冬季休業期間	12月26日(水)～1月3日(木)	
大学入試センター試験休業日	1月18日(金)～1月20日(日)	※2
補講週間	1月21日(月)～1月25日(金)	※3
秋学期・第5ターム試験期間	2月4日(月)～2月12日(火) (2月12日(火)は試験の予備日)	
英語統一テスト	2月13日(水)	
春季休業期間(第6ターム)	2月14日(木)～3月31日(日)	
個別学力検査等試験日(前期日程)	2月25日(月)～2月26日(火)	
個別学力検査等試験日(後期日程)	3月12日(火)～3月13日(水)	(予定)
卒業式・修了式	3月26日(火)	
秋学期終講	3月31日(日)	

※1 4月5日(木)までにオリエンテーション等を行い、4月6日(金)を春学期開講日とする。

※2 補講週間であっても通常授業は行う。補講は各日の第6限に実施するが、事情によりこの時間帯に実施し難い場合は、各部局の判断により別途日時を設定して補講を行うものとする。

※3 ターム試験期間には45分間相当の授業時間を含む。なお、セメスター科目は通常授業を行う。

※4 10月4日(木)までにオリエンテーション等を行い、10月5日(金)を秋学期開講日とする。

※5 12月25日(火)は月曜日の授業を行う。

# I 横浜国立大学大学院環境情報学府の概要

## 1 博士課程設置趣旨

21世紀において、世界全体が直面しており、その対応が求められている課題は、持続的に発展する安全で快適な社会の実現、すなわち「安心・安全な持続可能社会の創生」であるとされています。環境に対する捉え方においては、数多くの分野の関わりが重要であり、分野の枠組みを越えた俯瞰的な知識の重要性が増しています。

上記に関わる社会的課題を解決するために、環境情報学府では「環境」と「情報」を基軸に、安心・安全な持続可能社会の創生を目指して、学際的な文理融合・異分野融合の教育研究を行います。その基軸の1つである「環境」を次の3つの側面が不可分に重なりあったものと捉え、それぞれに対応する専攻を置いています。

- 人工環境 ヒトとモノが作る環境
- 自然環境 自然が提供する環境
- 情報環境 情報が作り上げる環境

もう1つの基軸である「情報」については、狭義の情報科学や情報工学分野にとどまらず、広く情報学の立場から本学府の全分野を貫くものと考えます。

環境情報学府では、前述の3つの環境の相互作用が生み出す情報に基づき、理系・文系の枠を越えて、新たな社会的価値を創生し、様々な分野で、安心・安全な持続可能社会の構築に貢献できる人材を養成します。更に、個々の専門分野に特化した知識や技能を備えつつも、分野を越えたコミュニケーションの行える力量をもった人材の育成を実現します。

博士課程前期においては、持続可能な社会および自然環境、先端的な情報学に関する文理融合教育を実践し、リスク共生学の研究成果に基づいた知識や技術をイノベーションにつなげて社会で活躍できる高度専門職業人を育成します。博士課程後期においては、更に高度な専門教育および分野横断的かつ文理融合教育と、自らの研究活動を通して、環境系・情報系・人文社会系に広く関わる課題を発見および解決し、理系・文系の枠を越えた新たな社会的価値を創生することで、安心・安全な持続可能社会の構築に貢献するとともに、その分野を牽引できるリーダー的な人材を育成します。

## 2 専攻と教育プログラム

本学府には、人工環境専攻、自然環境専攻、情報環境専攻の3つの専攻があり、各専攻には、それぞれ3つの教育プログラムがあります。教育プログラムは、各専攻において取得する学位の種類に応じて設定された科目履修の仕方であり、履修可能な授業科目群と修了に必要な単位が定められています。各学生は、入学時に、履修する教育プログラム(ならびに、取得する学位)を定めます。教育プログラムは、それぞれの学位を取得した人材がどのような専門性を持ち、どのような知識と技能を修得しているのかを明確に示すために設定されています。

## 博士課程前期

専攻名	教育プログラム（取得できる学位）
<b>人工環境専攻</b> 人工的な構造物によって構成される都市や産業プラントに加え、そこで暮らす人々の営みや地域社会との関係までを視野に入れ、ヒトとモノによって作られる環境である人工環境において持続可能社会を創生する際に必要な安心・安全を確保するための先端かつ実践的な工学的な技術に加え、それを社会実装する上で解決すべき問題などを探求できる人材を育成する。	<b>安全環境工学プログラム(修士(工学))</b> 都市や産業プラント、インフラ、エネルギーステーションなどの設計や災害時の対策や避難経路の確保や速やかな復旧など、安全工学的な視点で安心・安全を検討できる知識と技能を備えた人材を育成する。
	<b>環境学プログラム(修士(環境学))</b> 安全工学的な技術を社会実装するために、これらの技術に関する十分な知識に基づいてリスクを評価し、法制化や政策立案へとつなげていくことのできる人材を育成する。
	<b>社会環境プログラム(修士(学術))</b> 人工環境の中で暮らす人々の営みに注目して、企業経営や自治体の在り方、福祉や健康にも配慮して、安心・安全を考える人材を育成する。
<b>自然環境専攻</b> 人間社会を持続可能なものにするためには、その基盤となる自然環境の持続可能性や安全確保に関する知見が必要である。生命環境の利用・保全、中長期的な生態系の持続可能性のみならず、地球史的な環境の変化についての理解から地域住民との関わりまでを視野に入れた知識と技能を修得した人材を育成する。	<b>生態学プログラム(修士(環境学))</b> 私たちを取り巻く自然環境の保全、維持、回復を考えるためには、もとより生態学・生命科学の知識が重要である。この教育プログラムでは、自然との共存を図りながら、地域社会や世界の持続可能性を確保するために必要な生態学の知識と技能を修得した人材を育成する。
	<b>地球科学プログラム(修士(理学))</b> 近年の激化する気候変動、それに伴う大災害や地震など、私たちの環境の安心・安全を根本から覆すような出来事も多く、激変する自然環境に対して地球科学・生命科学の理解とそれらに基づいた対策を検討する必要がある。この教育プログラムでは、その対策に寄与できる科学的な知見に精通した人材を育成する。
	<b>環境学術プログラム(修士(学術))</b> Future Earth 構想の中で主張されているように、地球規模の環境問題は生態学、生命科学、地球科学の研究者だけで解決できることではなく、様々なステークホルダーも取り込んだ超学際的な研究が必要である。この教育プログラムでは、生態系を守るための法制度や地域住民との関わりなどにも配慮した自然環境管理の在り方を構想・提案できる人材を育成する。
<b>情報環境専攻</b> 持続可能社会における安心・安全を確保するためには、私たちを取り巻く情報の在り方、つまり「情報環境」に目を向ける必要がある。情報環境に関して、先端的な情報技術や情報システムのセキュリティのみならず、大量の情報に向き合う人間の有り様に対する理解や数理的なデータ解析の方法にも精通した人材を育成する。	<b>情報学プログラム(修士(情報学))</b> IoT や AI など、情報環境を作り上げる先進的な技術や情報セキュリティ、情報システムを活用するツールなどを開発できる知識と技能を備えた人材を育成する。
	<b>数理科学プログラム(修士(理学))</b> 情報環境の中で日々蓄積されていくビッグデータの解析を行うためには、従来の統計学に加え、現代数学の手法にも精通した人材が重要であると言われている。この教育プログラムでは、そのような現代数学を中心に多くの数理科学的手法を修得した人材を育成する。
	<b>情報学術プログラム(修士(学術))</b> 情報技術において不可欠な言語処理の原理を提供する理論言語学や、人工環境・自然環境における各種の現象を明らかにする数理シミュレーションなど、多分野との関連を見据えた情報学・数理科学を活用できる人材を育成する。

## 博士課程後期

専攻名	教育プログラム（取得できる学位）
<p><b>人工環境専攻</b> 産業プラント、インフラ、地域社会など、持続可能社会における安心・安全を確保するための工学的技術やそれを社会実装するための方法に関する先端的な知識と技能を備えた上で、様々な専門分野の知見やステークホルダーにも配慮して、社会における安心・安全を確保する新しいシステムやサービスを生み出し、自らの専門分野を牽引していける人材を育成する。</p>	<p><b>安全環境工学プログラム(博士(工学))</b> 都市や産業プラント、インフラ、エネルギーステーションなどの設計や災害時の対策や避難経路の確保や速やかな復旧、さらには新技術の推進など、人工環境における安全を確保するための工学的な高度専門的知識を有し、先端的な研究を行える人材を育成する。</p> <p><b>環境学プログラム(博士(環境学))</b> 人工環境と社会環境に配慮した科学技術の社会実装や法制化に関する高度専門知識を有し、人がつくり出す環境による汚染や課題等の実態やその影響などに関する先端的な研究を行える人材を育成する。</p> <p><b>社会環境プログラム(博士(学術))</b> 社会環境に関する高度専門知識を有し、人工環境の中で暮らす人々の営みに注目するとともに福祉や健康にも配慮した企業経営や自治体の在り方などについて、先端的な研究を行える人材を育成する。</p>
<p><b>自然環境専攻</b> 人間社会を持続可能なものにするためには、その基盤となる自然環境の持続可能性や安全確保に関する高度で専門的な知見が必要である。生命環境や生命現象の探求・利用、生態系の中長期的な持続可能性の探求とその展望、地球史的な環境変化や地球深部までも含めた地球の高度な理解、さらに自然環境と地域住民との社会的関わりなどの探求などを基礎とし、人と自然の関係における問題点を高度な専門性に立って考察し、その解決策を提示できる専門知識と専門技能を修得した人材を育成する。</p>	<p><b>生態学プログラム(博士(環境学))</b> 私たちを取り巻く自然環境の保全、維持、回復を考えるためには、もとより生態学や生命科学の高度な専門知識が必要である。この教育プログラムでは、自然との共存を図りながら、地域社会や世界の持続可能性を確保するために必要な生態学を中心とし生命科学や地球科学の専門性をも取り込んだ高度な知識と技能を修得した人材を育成する。</p> <p><b>地球科学プログラム(博士(理学))</b> 近年の激化する気候変動や多発する大地震に伴う大災害など、私たちの環境の安心・安全を根本から覆すような出来事が多発し、これらの激変する自然環境に対して地球科学や生命科学の高度な理解と生態学をも取り入れた、多様な専門知識に基づいた自然現象の探求を行う必要がある。この教育プログラムでは、その探求に寄与できる高度な科学的知見に精通した人材を育成する。</p> <p><b>環境学術プログラム(博士(学術))</b> Future Earth 構想の中で主張されているように、地球規模の環境問題は生態学、生命科学、地球科学の研究者だけで解決できることではなく、様々なステークホルダーも取り込んだ超学際的な高度な研究が必要である。この教育プログラムでは、生態系を守るための法制度や地域住民との関わりなどにも配慮した自然環境管理の在り方を、高度な専門的知見に基づいて探求・構想・提案できる人材を育成する。</p>
<p><b>情報環境専攻</b> 持続可能社会における安心・安全を確保するためには、私たちを取り巻く情報の在り方、つまり「情報環境」に目を向ける必要がある。情報セキュリティ、IoT、AI、ビッグデータ解析など、情報技術と数理学に関する先端的な知識と技能を備えた上で、「情報」が生み出す新しい社会的な価値と意味を理解し、それを現実社会におけるシステムやサービスの創出につなげ、さらに新しい情報技術や数理科学的解析手法を開発し、自らの専門分野を牽引していける人材を育成する。</p>	<p><b>情報学プログラム(博士(情報学))</b> IoT や AI など、情報環境を作り上げる先進的な技術や、情報セキュリティ、情報システムを活用するツールなどの開発に関する高度専門知識を修得し、先端的な研究により自らの専門分野を牽引していける人材を育成する。</p> <p><b>数理学プログラム(博士(理学))</b> 情報環境の中で日々蓄積されていくビッグデータの解析を行うためには、従来の統計学に加え、現代数学の手法にも精通した人材が重要であると言われている。この教育プログラムでは、そのような現代数学に精通し、数理的なデータ解析に関する高度専門知識を修得し、先端的な研究により自らの専門分野を牽引していける人材を育成する。</p> <p><b>情報学術プログラム(博士(学術))</b> 情報技術において不可欠な言語処理の原理を提供する理論言語学や、人工環境・自然環境における各種の現象を明らかにする数理シミュレーションなど、多分野との関連を見据えた情報学・数理科学の活用に関する高度専門知識を修得し、先端的な研究により自らの専門分野を牽引していける人材を育成する。</p>

## II 授業科目の履修・成績等について

### 1 授業の開講方法

#### (1) 2学期6ターム制について

環境情報学府では、各科目間の柔軟で円滑な連携を図るために「2学期6ターム制」を導入しています。2学期6ターム制では、1単位科目を原則とし、春学期を第1ターム、第2タームに分割し、それぞれを8週で構成しています。標準的には各週1コマ開講の授業を修めると1単位の取得となります。夏季休業期間は第3タームとして位置付けられ、海外インターンシップ等に活用できます。同様に、秋学期が第4、第5タームに分割され、春季休業期間が第6タームとなります。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
春学期						秋学期						
			夏季休業期間						休	春季休業期間		
第1ターム		第2ターム		第3ターム		第4ターム		第5ターム		第6ターム		

### 2 履修登録関係

#### (1) 履修計画について

大学院入学後のオリエンテーション等、指定された日時・場所で履修案内・時間割表等を受け取ってください。その後、履修登録期間が終わるまでに、修了までの授業の履修計画を履修計画書に記入し、責任指導教員に提出してください。その際、履修計画書のコピーを取り、本人控用として保管してください。

責任指導教員の了承を得た履修計画に基づいて、(2)で定められた期間内に履修登録を行ってください。

※ 履修計画書はウェブサイト「環境情報学府書式集」からダウンロードしてください。

URL : <http://www.kankyo-jimu.ynu.ac.jp/gakugai/kankyo/gakumu.html>

#### (2) 履修登録期間

春学期： 4月13日（金）～ 4月20日（金）（土日を除く）

秋学期： 10月12日（金）～ 10月19日（金）（土日を除く）

利用時間： 9：00～21：00

※ 学務情報システムにログインし、時間割コードを入力し、授業科目等を設定することで履修登録ができます。学務情報システムの操作方法は別途配布する「学務情報システム操作方法（大学院学生対象）」を参照してください。なお、上記の期間以外での受付は一切行いませんのでご注意ください。

※ 同一学期内の複数のタームで開講されている科目の場合は、同一学期内においてはいずれか1つのタームにだけ履修登録ができ、複数のタームに同時に履修登録をすることはできません。例えば、春学期を構成する第1ターム、第2ターム、第3タームで同じ科目が複数開講されている場合、当該科目は、その内の1つのタームのみに履修登録をすることができます。

※ 春学期履修登録期間中に秋学期の授業科目を履修登録することもできます。

#### (3) 履修登録確認・訂正期間

春学期： 5月 7日（月）～ 5月 9日（水）

秋学期： 10月24日（水）～ 10月26日（金）

利用時間： 9：00～21：00

※ 履修登録期間中に学務情報システムにて各自の履修計画どおりに履修登録されているか確認をしてください。履修確認の結果、履修計画どおりに登録できなかった場合又はエラー科目がある場合等は、履修登録期間又は履修登録確認・訂正期間内に学務情報システムで追加・削除を行ってください。

#### (4) 履修登録キャンセル期間

春 学 期 : 5月14日(月)～ 5月18日(金)

第2ターム開講科目のみ: 6月25日(月)～ 6月29日(金)

秋 学 期 : 11月 5日(月)～11月 9日(金)

第5ターム開講科目のみ: 12月17日(月)～12月21日(金)

利用時間: 9:00～21:00

※ 集中講義に関しては開講初日の前日まで受付けます。

※ 履修登録完了後に履修を取りやめたい科目が出た場合は、履修登録キャンセル期間内に学務情報システムにて履修キャンセルを行ってください。

※ 履修キャンセル期間後の集中講義の履修登録キャンセル手続き、及び、第2・5ターム開講科目用履修キャンセル期間中の履修登録キャンセル手続きは、学務情報システムからは行うことができません。環境情報学府係にてキャンセル申請書を受け取り、必要事項を記入し、指導教員のサインをもらった上で環境情報学府係へ提出してください。なお、キャンセル期間に履修登録はできません。

※ 履修登録キャンセル期間内にキャンセルの手続きを行った科目は、履修科目から削除されます。履修登録キャンセルをせずに履修を途中で“放棄”した場合、その科目の評価は「不可」となります。

#### (5) 履修上の一般的注意

履修登録していない授業科目を受講することはできません。また、試験を受けてもその成績(単位)は認定されません。

同一時限に複数の授業科目を履修登録すること(重複登録)はできません。

既に単位を修得した授業科目の再履修はできません。

#### (6) 入学前の既修得単位の認定について

本学大学院学則第13条に基づき、入学前に大学院において修得した単位の認定を希望する学生は、入学後直近の履修登録期間最終日までに環境情報学府係に申し出てください。

## 3 成績関係

#### (1) 学業成績について

学業成績は、試験の成績、レポート、出席状況などを考慮して決定されます。追試験及び再試験は、原則として行いません。ただし、原則として出席日数が全講義日数の1/2に満たない学生は、単位認定の資格を失います。

春学期履修科目の成績確認は10月上旬に、秋学期履修科目の成績は翌年4月上旬に学務情報システムにて行ってください。日程等の詳細については掲示により通知いたします。

試験の結果：

成績表記	点 数	単位
秀	100点 ～ 90点	単位を与える
優	89点 ～ 80点	
良	79点 ～ 70点	
可	69点 ～ 60点	
不可	59点 ～ 0点	単位を与えない

## (2) GPA (Grade Point Average) 制度について

GPA (Grade Point Average) 制度とは：成績評価方法の名称です。本学では平成15年度の学部入学生から「大学教育の質的向上」と「国際的水準に見合った成績評価」を目的にGPA制度が導入されています。

個々の科目について成績評価に応じてGP (Grade Point) を与え、以下の式によってGPA値を算出します。

$$\text{算出式：GPA} = \Sigma (\text{GP} \times \text{単位数}) \div \text{履修登録単位数}$$

成績評価（評価点）とGPは次のとおりとします。

段階	Grade Point	評価点
秀	4.5	100点 ～ 90点
優	4.0	89点 ～ 80点
良	3.0	79点 ～ 70点
可	2.0	69点 ～ 60点
不可	0.0	59点 ～ 0点

GPA算出対象科目

- ・人工環境専攻：全科目
- ・自然環境専攻：全科目
- ・情報環境専攻：全科目

## 4 試験週間要領

試験週間は学事暦のとおりとします。

試験週間内の試験は、原則として当該授業科目が授業時間割表に定められた曜日・時限に行います。

受験の際は、次の事項に注意してください。

- ・受験の際は学生証を机上に提示してください。
- ・受験中の不正行為は、大学院学則第24条により懲戒処分とします。

## 5 短縮修了について

修了要件を満たす見込みの学生で、優れた研究業績を挙げた学生は、標準修了年限に満たなくても、学位論文審査を申請することができます。

短縮修了を希望する者は、論文審査申請書提出期間までに「短縮修了申請書」を提出してください。なお、短縮修了を希望する学生は、演習科目やワークショップ科目を標準的ではない時期に履修する必要があることがあるので、必ず事前に責任指導教員に相談してください。

## 6 副専攻プログラムについて

副専攻プログラムは所属する専攻(課程・学科)にとらわれずに授業科目を履修し、特定の課題・分野を系統的に学習する機会を設けたプログラムです。プログラムの必要科目を修得したものには認定証(修了証)が発行され、成績証明書にも記載されます。なお、各プログラムの受講要件はそれぞれ異なります。詳細は本学ウェブサイト「教育・研究 → YNUの教育 → 副専攻プログラム」をご確認ください。

URL : [http://www.ynu.ac.jp/education/ynu\\_education/vice\\_special.html](http://www.ynu.ac.jp/education/ynu_education/vice_special.html)

## 7 英語スキルアップ研修プログラムについて

環境情報学府の学生に対し、外部の英語専門機関による「英語スキルアップ研修プログラム」を実施します。詳細は本学ウェブサイトをご確認ください。

URL : <http://www.eis.ynu.ac.jp/student/index.html>

# 履修登録手続き流れ図

流れ図は便宜上大幅に簡略化しております。手続きを行う際は、7ページ及び別途配布する「学務情報システム操作方法」を熟読の上で行ってください。

## スタート

受領

環境情報学府係

①履修登録に必要な資料を受領する。  
大学院オリエンテーション等、指定された日時・場所で履修案内を受け取る。また、環境情報学府ウェブサイトから時間割をダウンロードする。

②履修計画を立てる。  
履修案内・時間割表を基に履修計画を立てる。

③履修計画書を責任指導教員へ提出する。  
履修計画書を書式集からダウンロードし、記入したものを責任指導教員へ提出する。その際、コピーを取り本人控用として保管する。

④学務情報システムで履修登録する。  
春学期 4月13日(金)～4月20日(金)  
秋学期 10月12日(金)～10月19日(金)

⑤履修計画書(本人控)と照合する。  
履修計画書(本人控)と学務情報システムの登録内容を比べ、間違いがないか確認する。

【あり】

⑥履修登録の訂正をする。  
照合の結果、間違いや登録漏れがあった場合は、学務情報システムで追加・削除を行う。  
春学期 5月7日(月)～5月9日(水)  
秋学期 10月24日(水)～10月26日(金)

【なし】

⑦履修登録完了  
履修計画書(本人控)と学務情報システムの登録内容に間違いがなかった場合、履修登録完了となる。

⑦履修登録完了  
履修計画書(本人控)と学務情報システムの登録内容に間違いがなかった場合、履修登録完了となる。

⑧履修登録キャンセル  
履修登録完了後に履修を取りやめたい科目が出た場合は、履修登録キャンセル期間内に学務情報システムにて履修キャンセルを行う。  
春学期 5月14日(月)～5月18日(金)  
第2タームのみ 6月25日(月)～6月29日(金)  
秋学期 11月5日(月)～11月9日(金)  
第5タームのみ 12月17日(月)～12月21日(金)

### III 環境情報学府の指導教員（平成30年4月現在）

前期課程の授業及び研究指導を行うための指導教員グループ（責任指導教員1人及び指導教員1人）、及び後期課程の授業又は研究指導を行うための指導委員会（責任指導教員1人及び指導教員2人）は、原則として、下記の表の自分が所属している専攻（以下「自専攻」という）の教員の中から学生の希望を考慮して決定されます。ただし、指導教員グループ/指導委員会の指導教員の内、1人は自分が所属していない教育プログラム（以下「他教育プログラム」という）を担当する教員の中から選ばれます。

#### 人工環境専攻

教育プログラム (教育プログラム コード)	教授	准教授	講師	助教
安全環境工学 (HG1)	雨宮隆、大谷英雄、大谷裕之、大矢勝、鈴木淳史、中井里史、中野健、野口和彦、本田清、本藤祐樹、松本真哉、三宅淳巳、安本雅典	荒牧賢治、伊藤暁彦、岡泰資、笠井尚哉、亀屋隆志、熊崎美枝子、小林剛、澁谷忠弘、白石俊彦、田中良巳、松宮正彦	藤井麻樹子	
環境学 (HG2)	雨宮 隆、大矢勝、中井里史、本藤祐樹、松本真哉、安本雅典	荒牧賢治、伊藤暁彦、遠藤聡、亀屋隆志、小林剛、鳴海大典、松宮正彦	藤井麻樹子	
社会環境 (HG3)	周佐喜和、中井里史、本藤祐樹、宮崎隆、安本雅典	遠藤 聡、亀屋隆志、小林剛、鳴海大典、長谷部英一		

#### 自然環境専攻

教育プログラム (教育プログラム コード)	教授	准教授	講師	助教
生態学 (HH1)	石川正弘、及川敬貴、菊池知彦、小池文人、酒井暁子、平塚和之、間嶋隆一、松田裕之	尾形信一、佐々木雄大、下出信次、中村達夫、中森泰三、森章、山本伸次、和仁良二		
地球科学 (HH2)	石川正弘、菊池知彦、小池文人、酒井暁子、平塚和之、間嶋隆一、松田裕之	尾形信一、佐々木雄大、下出信次、中村達夫、中森泰三、森章、山本伸次、和仁良二		
環境学術 (HH3)	及川敬貴、小池文人、酒井暁子、松田裕之	佐々木雄大、中森泰三、森章		

#### 情報環境専攻

教育プログラム (教育プログラム コード)	教授	准教授	講師	助教
情報学 (HJ1)	岡嶋克典、四方順司、田村直良、長尾智晴、額田順二、松本勉、森辰則、山田貴博	白崎実、富井尚志、松井和己、吉岡克成	白川真一	
数理科学 (HJ2)	四方順司、中本敦浩、西村尚史、額田順二、根上生也、野間淳	小関健太、白崎実、原下秀士	牛越恵理佳	
情報学術 (HJ3)	額田順二、山田貴博	白崎実、藤井友比呂、マーティンロジャー、松井和己		

# IV 履修基準及び授業科目

## 1 前期課程

### (1) 授業科目と修了について

#### ① 授業科目とプレレキジット

本学府の授業科目は、三専攻共通の学府共通科目（環境情報リテラシー科目、環境情報ジェネリックスキル科目）と専攻ごとに異なる専門教育科目（コア講義科目、専門講義科目、演習、ワークショップ）によって構成されています。また、学生の基礎的知識を補充するためにプレレキジット制度を設けています。

##### ア 環境情報リテラシー科目

分野の異なる教員の協働によって実施し、1つのテーマに対して学際的な文理融合・異分野融合的な視点で議論される様子を学生に示す科目です。

##### イ 環境情報ジェネリックスキル科目

高度専門職業人としての汎用な技能と環境情動的な視点による課題発見・課題解決の手法を学ぶために設けられた、他者との協働のためのコンピテンスを修得するための科目です。

環境情報イノベーション演習は、履修したリテラシー科目を基に初回のオリエンテーションでクラス分けを実施します。

##### ウ コア講義科目

各専攻で共通する専門知識と技能を修得するための科目です。

##### エ 専門講義科目

学位の教育プログラム（学位）に応じた高度専門知識・技能を修得するための科目です。

##### オ 演習

学位取得を目指して専攻内の教員によって行われる研究指導で、複数の教員からなる指導教員グループによって学生の専門性を担保する指導を行います。責任指導教員が開講する演習(専攻共通演習と教育プログラムごとの演習)を履修することが原則ですが、指導教員グループが認めた場合には、責任指導教員以外が開講する科目を履修することができます。その際は、履修登録期間内に「責任指導教員以外の演習科目履修申請書」を環境情報学府係に提出し、専攻の許可を得る必要があります。また、短縮修了を目指す場合には、標準的ではない時期に履修する必要があることがあるので、必ず事前に責任指導教員に相談してください。

##### カ ワークショップ

文理融合・異分野融合の視座から自分の研究を吟味するために行われる研究成果の中間発表会です。各専攻から分野の異なる教員が参画し、人工環境、自然環境、情報環境という3つ視点から個々の学生の研究を評価します。なお、短縮修了を目指す場合には、標準的ではない時期に履修する必要があることがあるので、必ず事前に責任指導教員に相談してください。

##### キ プレレキジット

指導教員グループが必要と判断した場合、学生は基礎的知識を補充するためにプレレキジット科目を履修することが推奨されます。履修が推奨される授業科目（教養教育科目および教職科目は除く）は、個々の学生ごとに指導教員グループが指示します。本科目は修了要件の単位には算入されません。

#### ② 指導教員グループ

責任指導教員と自専攻他教育プログラム担当の指導教員との2名による指導教員グループにより、研究指導を行います。また、指導教員グループは、学生の資質を考慮し授業科目選択に対して学生に必要な助言や指導を行います。

指導教員グループは、学生の研究計画にあわせて学生ごとに入学直後に決定し、基本的には修了時まで研究指導を継続します。ただし、「ワークショップ I」における議論や演習の実施状況を考慮した結果、入学当初に設定した取得予定学位を変更することが妥当であると指導教員グループが判断した場合には、2年次に進学する際に自専攻内で教育プログラムを変更することができるので、責任指導教員に相談してください。

### ③ 修了関係

#### ア 修了要件及び学位論文執筆要件

修了要件は、博士課程前期に2年以上在学し、教育プログラムごとに定められた履修方法により履修し、次の区分により30単位以上を修得し、修了に関わる授業科目のGPAが2.0以上（9ページ「GPA制度について」参照。）であり、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士学位論文審査並びに最終試験に合格することです。修了に必要な単位は、次の表の通りです。

修士論文の作成に関して専攻ごとの規則がありますので、詳細は指導教員または学務委員に確認をしてください。

科目	単位数
環境情報リテラシー科目	3単位以上※1
環境情報ジェネリックスキル科目 環境情報イノベーション演習 研究の心得 グローバル化演習	1単位以上 1単位以上 1単位
専門教育科目 1 コア講義科目 2 専門講義科目 3 演習 4 ワorkshop	以下の1～4を含んで24単位以上 ※2、3 2単位 8単位以上 8単位以上 ※4 2単位
プレレキジット科目（指定された学生のみ）	
合計	30単位以上

※1 環境情報リテラシー科目は、修了に必要な3単位分を一つのタームにまとめて履修してはいけません。1単位分は必ずタームの異なる科目を履修してください。

※2 表中の1～4以外に、自分が所属していない専攻（以下「他専攻」という）の専門講義科目、本学の環境情報学院以外の学院が開講する科目（※3を参照のこと）を専門教育科目に含めることができます。専門教育科目のうち1単位は、他専攻でのみ開講されている専門講義科目からの修得を必須とします。

※3 責任指導教員が認める場合には、10単位を限度として講義科目に限り、本学大学院他研究科及び他学院（教育学研究科、国際社会科学府博士課程前期、理工学院、都市イノベーション学院）開設科目、単位互換を申し合わせている他大学院研究科開設科目の単位を修了に必要な単位として認定できます。上記を希望する者は、あらかじめ責任指導教員と相談し了承を得るとともに、授業担当教員の下承を得て、履修計画書を環境情報学院係に提出してください。なお、取得した単位は専門教育科目に充当するものとします。

※4 修了に必要な演習の単位については責任指導教員と指導教員の指導に基づき演習科目を履修してください。

## イ 取得可能な学位及び取得方法

環境情報学府では、専攻及び教育プログラムによって取得する学位の種類及び履修する専門教育科目が異なります。17ページ「(3)授業科目一覧(前期課程)」から、14ページ「ア 修了要件及び学位論文執筆要件」を満たすように単位を取得する際に、下記の表において、自分が所属している教育プログラム(以下「自教育プログラム」という)に○がしてある専門講義科目及び演習の中から、それぞれ8単位以上ずつ履修してください。教育プログラムの変更については13ページ「②指導教員グループ」をご確認ください。

例：人工環境専攻安全環境工学プログラムの学生は、安全環境工学に○がしてある専門講義科目及び演習を、それぞれ8単位以上ずつ履修してください。

専攻名	教育プログラム	学位種
人工環境専攻	安全環境工学	修士(工学)
	環境学	修士(環境学)
	社会環境	修士(学術)
自然環境専攻	生態学	修士(環境学)
	地球科学	修士(理学)
	環境学術	修士(学術)
情報環境専攻	情報学	修士(情報学)
	数理科学	修士(理学)
	情報学術	修士(学術)

## ウ 論文審査スケジュール

学位論文審査手続きとスケジュールは以下のとおりです。

項目	手続き時期*多少前後する可能性あり		内容
	9月修了	3月修了	
論文審査申請	4月	10月	環境情報学府係窓口へ必要書類を提出
論文提出期間	7月 ↓	1月 ↓	環境情報学府係窓口へ論文ほか必要書類を提出
審査期間	8月	2月	(審査の詳細は担当教員へ確認のこと)
学府教授会による修了認定	9月	3月	—
修了式	9月	3月	学位記授与

学位論文審査に関する手続き方法、正式な日程、提出書類等の詳細はウェブサイト「環境情報学府書式集」にて確認してください。

上記に加え、専攻内での審査手続き(予備審査など)、スケジュールは各自で指導教員へ確認してください。

## エ 学位論文評価基準

- ① 当該研究領域における関連研究の現状や研究テーマに関連する専門知識を理解していること。(専門知識の理解度)
- ② 課題の設定およびそれを解決するための方法論の選択や、仮説構築・検証方法などが妥当であること。(研究方法の妥当性)
- ③ 関連研究と比較して、新規性があり、当該分野の発展に貢献する研究成果が得られていること。(研究成果の独創性)

- ④上記3点を第三者が適切に評価できるように論文が構成されており、適切に表現されていること。（論文の構成・表現の適切性）

## (2) 教育職員免許状の取得について

各専攻において取得可能な中学校教諭専修免許状（以下「中専免」という）及び高等学校教諭専修免許状（以下「高専免」という）と、それらの取得に必要な中学校教諭一種免許状（以下「中一種免」という）及び高等学校教諭一種免許状（以下「高一種免」という）は次の表のとおりです。必要な中一種免又は高一種免を取得している学生は、17ページ「(3) 授業科目一覧（前期課程）」の「備考」の列に「教免」と記載のある科目の中から、合計24単位修得することで該当の専修免許状を取得することができます。

専攻名	取得可能な免許種・教科	必要な免許種・教科（基礎資格）
人工環境専攻	中専免（理科） 高専免（理科）	中一種免（理科） 高一種免（理科）
自然環境専攻	中専免（理科） 高専免（理科）	中一種免（理科） 高一種免（理科）
情報環境専攻	中専免（数学） 高専免（数学）	中一種免（数学） 高一種免（数学）

### (3) 授業科目一覧（前期課程）

科目によっては履修条件が課せられているものがあるので、履修登録を行う前に必ずシラバスを確認してください。また、各科目の第一回目の授業において担当教員から履修条件が説明されることもあるので、担当教員の指示をよく理解した上で、履修登録を行ってください。

専門教育科目の演習及びワークショップの履修順序について、演習は科目名末尾がⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの順番で、ワークショップは科目名末尾がⅠ、Ⅱの順番で履修してください。

なお、環境情報イノベーション演習については、Ⅰ、Ⅱいずれか、あるいは順番に関らず両方の履修が認められています。

ワークショップの履修タームについて、通常、4月入学者は1年次の第5タームにⅠ、2年次の第4タームにⅡを履修し、10月入学者は1年次の第2タームにⅠ、2年次の第1タームにⅡを履修してください。

#### ① 学府共通科目

##### ア 環境情報リテラシー科目

授業科目の名称	教員名	配当年次	ターム	単位数		備考
				必修	選択	
持続可能社会とFuture Earth	松田裕之, 他	1・2	①		1	
超スマート社会の構築に向けて	長谷部英一, 他	1・2	④		1	
社会インフラにおけるリスクと安全	本藤祐樹, 他	1・2	①		1	
安心社会のための福祉・医療	中井里史, 他	1・2	④		1	
自然災害を考える一過去から未来へ	鳴海大典, 他	1・2	①		1	
イノベーション・マネジメント	周佐喜和, 他	1・2	④		1	
地球科学・生態学の手法	山本伸次, 他	1・2	①		1	
情報学・数理科学の手法	藤井友比呂, 他	1・2	④		1	
最低必要単位数合計					0	3

##### イ 環境情報ジェネリック科目

	授業科目の名称	教員名	配当年次	ターム	単位数		備考
					必修	選択	
心 研 究 の 得	環境情報イノベーション演習Ⅰ	松本真哉, 他	1・2	②		1	1 単位以上選択
	環境情報イノベーション演習Ⅱ	中本敦浩, 他	1・2	⑤		1	
	科学者・技術者のための研究倫理	根上生也, 他	1・2	⑤		1	1 単位以上選択
	高度専門職能とキャリア開発	志田基与師	1・2	③		1	
	女性のためのキャリア教育	有光直子	1・2	④		1	
	グローバル化演習	学府各教員	1・2	①～⑥	1		※1
最低必要単位数合計						1	2

※1 グローバル化演習は、ショートビジットや海外インターンシップなどの組み合わせによって単位を認定します。履修にあたっては、その時期や内容について責任指導教員とよく相談して計画を立ててください。

② 専門教育科目

ア 人工環境専攻

授業科目の名称			教員名	配当年次	ターム	単位数		備考	
						必修	選択		
講義 コア 科目	人工環境概論Ⅰ		大矢勝, 他	1・2	①	1			
	人工環境概論Ⅱ		大谷英雄, 他	1・2	②	1			
	最低必要単位数小計						2	0	
安全 環境 工学	環境 学	社会 環境	(この領域は、専攻の他の科目と重複する内容を含むため、教免とする。)						
専門 講義 科目	○	○	○	ライフサイクルアセスメントⅠ	本藤祐樹	1	①	1	教免
	○	○	○	環境疫学・健康リスク評価方法論	中井里史	1・2	①	1	
	○	○	○	イノベーション戦略論	安本雅典	1・2	①	1	
	○	○	○	物質・生命と環境	松本真哉, 他	1・2	①	1	教免
	○	○	○	ライフサイクルアセスメントⅡ	本藤祐樹	1	②	1	教免
	○	○	○	知識マネジメントと標準化	安本雅典	1・2	②	1	
	○	○	○	環境イノベーション論Ⅰ	鳴海大典	1・2	④	1	教免
	○	○	○	環境イノベーション論Ⅱ	鳴海大典	1・2	⑤	1	教免
	○	○		環境材料分析手法Ⅰ	藤井麻樹子, 松本真哉	1・2	①	1	教免
	○	○		環境化学分析学	亀屋隆志, 他	1・2	①	1	教免
	○	○		環境材料分析手法Ⅱ	藤井麻樹子, 松本真哉	1・2	②	1	教免
	○	○		化学物質環境動態解析	小林剛, 他	1・2	②	1	教免
	○	○		都市環境管理学	小林剛, 他	1・2	④	1	
	○	○		環境材料設計学Ⅰ	荒牧賢治, 伊藤暁彦	1・2	④	1	教免
	○	○		環境材料設計学Ⅱ	荒牧賢治, 伊藤暁彦	1・2	④	1	教免
	○	○		環境洗浄科学	大矢勝	1	⑤	1	教免
		○	○	地域発展政策Ⅰ	遠藤聡	1・2	④	1	
		○	○	地域発展政策Ⅱ	遠藤聡	1・2	⑤	1	
		○	○	環境排出管理学	亀屋隆志, 小林剛	1・2	④	1	
		○	○	Sustainable Health and Environment	中井里史	1・2	④	1	
	○			化学反応プロセスのリスク管理Ⅰ	熊崎美枝子	1・2	①	1	
	○			化学反応プロセスのリスク管理Ⅱ	熊崎美枝子	1・2	①	1	
	○			環境物理化学Ⅰ	雨宮隆, 松宮正彦	1・2	①	1	教免
	○			環境ソフトマター科学Ⅰ	田中良巳, 鈴木淳史	1・2	①	1	
	○			産業災害事故の解析と設備のリスクアセスメントⅠ	笠井尚哉	1・2	①	1	
	○			環境機能物質科学Ⅰ	本田清, 大谷裕之	1・2	①	1	教免
	○			非線形力学特論	中野健	1・2	①	1	
○			環境物理化学Ⅱ	雨宮隆, 松宮正彦	1・2	②	1	教免	
○			環境ソフトマター科学Ⅱ	鈴木淳史, 田中良巳	1・2	②	1		
○			化学災害リスク論	三宅淳巳	1・2	④	1		
○			産業災害事故の解析と設備のリスクアセスメントⅡ	笠井尚哉	1・2	②	1		
○			環境機能物質科学Ⅱ	本田清, 大谷裕之	1・2	②	1	教免	
○			機械システムのリスク評価と制御技術Ⅰ	澁谷忠弘	1・2	④	1		
○			火災の科学と防火技術Ⅰ	岡泰資	1・2	④	1		

○			インテリジェント構造システム学	白石俊彦	1・2	④		1			
○			安全社会論	野口和彦	1・2	④		1			
○			化学物質のハザード評価	大谷英雄	1	⑤		1			
○			機械システムのリスク評価と制御技術Ⅱ	澁谷忠弘	1・2	⑤		1			
○			火災の科学と防火技術Ⅱ	岡泰資	1・2	⑤		1			
○			リスクマネジメント論	野口和彦	1・2	⑤		1			
		○	環境イノベーション思想史	長谷部英一	1・2	②		1			
		○	イノベーション組織論	周佐喜和	1・2	④		1			
		○	社会老年学Ⅰ	安藤孝敏	1・2	④		1			
		○	生(いのち)の哲学	宮崎隆	1・2	④		1			
		○	グローバルビジネスとイノベーション	周佐喜和	1・2	⑤		1			
		○	社会老年学Ⅱ	安藤孝敏	1・2	⑤		1			
	○	○	生態系評価学Ⅰ	佐々木雄大	1・2	①		1			
○			地球システム科学Ⅰ	石川正弘	1・2	④		1			
○			自然生態系設計学Ⅰ	森章	1・2	①		1			
	○		生態リスクと社会的合意	松田裕之	1・2	④		1			
		○	自然生態系管理学	森章	1・2	②		1			
最低必要単位数小計										0	8
演習	○	○	○	人工環境演習Ⅰ	中井里史,他	1	①・④		1	専攻共通演習	
	○	○	○	人工環境演習Ⅱ	中井里史,他	1	②・⑤		1	専攻共通演習	
	○	○	○	人工環境演習Ⅲ	中井里史,他	1	①・④		1	専攻共通演習	
	○	○	○	人工環境演習Ⅳ	中井里史,他	1	②・⑤		1	専攻共通演習	
	○			安全環境工学演習Ⅰ	中井里史,他	2	①・④		1		
	○			安全環境工学演習Ⅱ	中井里史,他	2	②・⑤		1		
	○			安全環境工学演習Ⅲ	中井里史,他	2	①・④		1		
	○			安全環境工学演習Ⅳ	中井里史,他	2	②・⑤		1		
		○		環境学演習Ⅰ	中井里史,他	2	①・④		1		
		○		環境学演習Ⅱ	中井里史,他	2	②・⑤		1		
		○		環境学演習Ⅲ	中井里史,他	2	①・④		1		
		○		環境学演習Ⅳ	中井里史,他	2	②・⑤		1		
			○	社会環境演習Ⅰ	中井里史,他	2	①・④		1		
			○	社会環境演習Ⅱ	中井里史,他	2	②・⑤		1		
			○	社会環境演習Ⅲ	中井里史,他	2	①・④		1		
			○	社会環境演習Ⅳ	中井里史,他	2	②・⑤		1		
	○			環境物理化学演習Ⅰ	雨宮隆, 松宮正彦	1	①・④		1	教免 ※2	
	○			環境物理化学演習Ⅱ	雨宮隆, 松宮正彦	1	②・⑤		1	教免 ※2	
	○			環境物理化学演習Ⅲ	雨宮隆, 松宮正彦	1	①・④		1	教免 ※2	
	○			環境物理化学演習Ⅳ	雨宮隆, 松宮正彦	1	②・⑤		1	教免 ※2	
	○			環境機能物質科学演習Ⅰ	大谷裕之, 本田清	1	①・④		1	教免 ※2	
	○			環境機能物質科学演習Ⅱ	大谷裕之, 本田清	1	②・⑤		1	教免 ※2	
	○			環境機能物質科学演習Ⅲ	大谷裕之, 本田清	1	①・④		1	教免 ※2	
	○			環境機能物質科学演習Ⅳ	大谷裕之, 本田清	1	②・⑤		1	教免 ※2	
	○			環境材料分析手法演習Ⅰ	藤井麻樹子, 松本真哉	1	①・④		1	教免 ※2	
	○			環境材料分析手法演習Ⅱ	藤井麻樹子, 松本真哉	1	②・⑤		1	教免 ※2	
	○			環境材料分析手法演習Ⅲ	藤井麻樹子, 松本真哉	1	①・④		1	教免 ※2	
	○			環境材料分析手法演習Ⅳ	藤井麻樹子, 松本真哉	1	②・⑤		1	教免 ※2	
	○			環境洗浄科学演習Ⅰ	大矢勝	1	①・④		1	教免 ※2	
	○			環境洗浄科学演習Ⅱ	大矢勝	1	②・⑤		1	教免 ※2	
	○			環境洗浄科学演習Ⅲ	大矢勝	1	①・④		1	教免 ※2	
	○			環境洗浄科学演習Ⅳ	大矢勝	1	②・⑤		1	教免 ※2	
○			環境化学分析学演習Ⅰ	亀屋隆志,他	1	①・④		1	教免 ※2		
○			環境化学分析学演習Ⅱ	亀屋隆志,他	1	②・⑤		1	教免 ※2		
○			環境化学分析学演習Ⅲ	亀屋隆志,他	1	①・④		1	教免 ※2		
○			環境化学分析学演習Ⅳ	亀屋隆志,他	1	②・⑤		1	教免 ※2		

○		化学物質のハザード評価演習Ⅰ	大谷英雄	1	①・④	1	
○		化学物質のハザード評価演習Ⅱ	大谷英雄	1	②・⑤	1	
○		化学物質のハザード評価演習Ⅲ	大谷英雄	1	①・④	1	
○		化学物質のハザード評価演習Ⅳ	大谷英雄	1	②・⑤	1	
○		ライフサイクルアセスメント演習Ⅰ	本藤祐樹	1	①・④	1	教免 ※2
○		ライフサイクルアセスメント演習Ⅱ	本藤祐樹	1	②・⑤	1	教免 ※2
○		ライフサイクルアセスメント演習Ⅲ	本藤祐樹	1	①・④	1	教免 ※2
○		ライフサイクルアセスメント演習Ⅳ	本藤祐樹	1	②・⑤	1	教免 ※2
○		環境材料設計学演習Ⅰ	伊藤暁彦, 荒牧賢治	1	①・④	1	教免 ※2
○		環境材料設計学演習Ⅱ	伊藤暁彦, 荒牧賢治	1	②・⑤	1	教免 ※2
○		環境材料設計学演習Ⅲ	伊藤暁彦, 荒牧賢治	1	①・④	1	教免 ※2
○		環境材料設計学演習Ⅳ	伊藤暁彦, 荒牧賢治	1	②・⑤	1	教免 ※2
○		インテリジェント構造システム学演習Ⅰ	白石俊彦	1	①・④	1	
○		インテリジェント構造システム学演習Ⅱ	白石俊彦	1	②・⑤	1	
○		インテリジェント構造システム学演習Ⅲ	白石俊彦	1	①・④	1	
○		インテリジェント構造システム学演習Ⅳ	白石俊彦	1	②・⑤	1	
○		化学反応プロセスのリスク管理演習Ⅰ	熊崎美枝子	1	①・④	1	
○		化学反応プロセスのリスク管理演習Ⅱ	熊崎美枝子	1	②・⑤	1	
○		化学反応プロセスのリスク管理演習Ⅲ	熊崎美枝子	1	①・④	1	
○		化学反応プロセスのリスク管理演習Ⅳ	熊崎美枝子	1	②・⑤	1	
○		産業災害事故の解析と設備の リスクアセスメント演習Ⅰ	笠井尚哉	1	①・④	1	
○		産業災害事故の解析と設備の リスクアセスメント演習Ⅱ	笠井尚哉	1	②・⑤	1	
○		産業災害事故の解析と設備の リスクアセスメント演習Ⅲ	笠井尚哉	1	①・④	1	
○		産業災害事故の解析と設備の リスクアセスメント演習Ⅳ	笠井尚哉	1	②・⑤	1	
○		機械システムのリスク評価と 制御技術演習Ⅰ	澁谷忠弘	1	①・④	1	
○		機械システムのリスク評価と 制御技術演習Ⅱ	澁谷忠弘	1	②・⑤	1	
○		機械システムのリスク評価と 制御技術演習Ⅲ	澁谷忠弘	1	①・④	1	
○		機械システムのリスク評価と 制御技術演習Ⅳ	澁谷忠弘	1	②・⑤	1	
○		環境イノベーション論演習Ⅰ	鳴海大典	1	①・④	1	教免 ※2
○		環境イノベーション論演習Ⅱ	鳴海大典	1	②・⑤	1	教免 ※2
○		環境イノベーション論演習Ⅲ	鳴海大典	1	①・④	1	教免 ※2
○		環境イノベーション論演習Ⅳ	鳴海大典	1	②・⑤	1	教免 ※2
最低必要単位数小計						0	8
シ ョ ッ ク		人工環境ワークショップⅠ	野口和彦,他	1	②・⑤	1	
		人工環境ワークショップⅡ	野口和彦,他	2	①・④	1	
	最低必要単位数小計						2
最低必要単位数合計						4	16

※1 中専免(理科)又は高専免(理科)の免許の取得を希望しない学生は、専攻共通演習に加え、安全環境工学プログラム所属の学生は安全環境工学演習を、環境学プログラム所属の学生は環境学演習を、社会環境プログラム所属の学生は社会環境演習を履修してください。

※2 人工環境専攻の学生は、中専免(理科)又は高専免(理科)の免許状の取得に必要な科目として、責任指導教員の担当する演習のみを最大4単位まで選択することが可能です。

※3 人工環境専攻の学生は、中専免(理科)又は高専免(理科)の免許状の取得に必要な科目として、自然環境専攻開講の「植物遺伝子工学Ⅰ」「植物遺伝子工学Ⅱ」「植物分子生理学Ⅰ」「植物分子生理学Ⅱ」「地球システム物質循環論Ⅰ」「地球システム物質循環論Ⅱ」「海洋生物環境学Ⅰ」「海洋生物環境学Ⅱ」「古生態学Ⅰ」「古生態学Ⅱ」「土壌生物学Ⅰ」「土壌生物学Ⅱ」「海洋システム科学Ⅰ」「海洋システム科学Ⅱ」を選択することが可能です。

イ 自然環境専攻

授業科目の名称				教員名	配当年次	ターム	単位数		備考	
							必修	選択		
講義 コア 科目	自然環境概論Ⅰ			小池文人,他	1・2	①	1			
	自然環境概論Ⅱ			山本伸次,他	1・2	②	1			
	最低必要単位数小計						2	0		
	生態学	地球科学	環境学術							
専門講義科目	○	○	○	生態系評価学Ⅰ	佐々木雄大	1・2	①		1	教免
	○	○	○	自然生態系設計学Ⅰ	森章	1・2	①		1	教免
	○	○	○	生態学：進化と環境適応	酒井暁子	1・2	①		1	教免
	○	○	○	土壌生物学Ⅰ	中森泰三	1・2	①		1	教免
	○	○	○	生態系評価学Ⅱ	佐々木雄大	1・2	②		1	教免
	○	○	○	自然生態系管理学	森章	1・2	②		1	教免
	○	○	○	ユネスコエコパークや関連制度を活用した環境共生型地域の創出	酒井暁子	1・2	②		1	
	○	○	○	自然生態系設計学Ⅱ	小池文人	1・2	④		1	教免
	○	○	○	生態リスクと社会的合意	松田裕之	1・2	④		1	教免
	○	○	○	野生動物・水産資源管理学	松田裕之	1・2	⑤		1	教免
	○	○	○	外来生物問題を解決するモデルと社会	小池文人	1・2	⑤		1	教免
	○	○		植物遺伝子機能学Ⅰ	尾形信一	1・2	④		1	教免
	○	○		地球システム物質循環論Ⅰ	山本伸次	1・2	①		1	教免
	○	○		古生態学Ⅰ	和仁良二	1・2	①		1	教免
	○	○		海洋生物環境学Ⅰ	下出信次	1・2	②		1	教免
	○	○		土壌生物学Ⅱ	中森泰三	1・2	②		1	教免
	○	○		植物遺伝子機能学Ⅱ	尾形信一	1・2	⑤		1	教免
	○	○		地球システム物質循環論Ⅱ	山本伸次	1・2	②		1	教免
	○	○		古生態学Ⅱ	和仁良二	1・2	①		1	教免
	○	○		海洋生物環境学Ⅱ	下出信次	1・2	②		1	教免
	○	○		土壌生態学Ⅰ	金子信博	1・2	④		1	教免
	○	○		植物遺伝子工学Ⅰ	平塚和之	1・2	④		1	教免
	○	○		地球システム科学Ⅰ	石川正弘	1・2	④		1	教免
	○	○		海洋システム科学Ⅰ	菊池知彦	1・2	④		1	教免
	○	○		海洋古環境学Ⅰ	間嶋隆一	1・2	④		1	教免
	○	○		土壌生態学Ⅱ	金子信博	1・2	⑤		1	教免
	○	○		植物遺伝子工学Ⅱ	平塚和之	1・2	⑤		1	教免
	○	○		植物分子生理学Ⅰ	中村達夫	1・2	④		1	教免
	○	○		植物分子生理学Ⅱ	中村達夫	1・2	⑤		1	教免
	○	○		地球システム科学Ⅱ	石川正弘	1・2	⑤		1	教免
	○	○		海洋システム科学Ⅱ	菊池知彦	1・2	⑤		1	教免
	○	○		海洋古環境学Ⅱ	間嶋隆一	1・2	⑤		1	教免
	○		○	環境法Ⅰ	及川敬貴	1・2	①		1	
○		○	地域発展政策Ⅰ	遠藤聡	1・2	④		1		
○		○	環境法Ⅱ	及川敬貴	1・2	②		1		
○		○	地域発展政策Ⅱ	遠藤聡	1・2	⑤		1		
○		○	環境イノベーション論Ⅰ	鳴海大典	1・2	④		1		
○		○	社会老年学Ⅰ	安藤孝敏	1・2	④		1		
○		○	イノベーション組織論	周佐喜和	1・2	④		1		
○		○	環境イノベーション論Ⅱ	鳴海大典	1・2	⑤		1		
○		○	社会老年学Ⅱ	安藤孝敏	1・2	⑤		1		
○		○	グローバルビジネスとイノベーション	周佐喜和	1・2	⑤		1		
○	○	○	生態学特別講義	小池文人,他	1・2	③		2	教免、※1	
○	○	○	生態学特別実験	小池文人,他	1・2	③		2	教免、※1	
○	○		分子生物学特別講義	平塚和之,他	1・2	③		2	教免、※2	
○	○		分子生物学特別実験	平塚和之,他	1・2	③		2	教免、※2	
○	○		地球科学特別講義	石川正弘,他	1・2	③		2	教免、※3	
○	○		地球科学特別実験	石川正弘,他	1・2	③		2	教免、※3	
最低必要単位数小計								0	8	

演習	○	○	○	自然環境演習Ⅰ	間嶋隆一,他	1	①・④	1	専攻共通演習
	○	○	○	自然環境演習Ⅱ	間嶋隆一,他	1	②・⑤	1	専攻共通演習
	○	○	○	自然環境演習Ⅲ	間嶋隆一,他	1	①・④	1	専攻共通演習
	○	○	○	自然環境演習Ⅳ	間嶋隆一,他	1	②・⑤	1	専攻共通演習
	○			生態学演習Ⅰ	間嶋隆一,他	2	①・④	1	
	○			生態学演習Ⅱ	間嶋隆一,他	2	②・⑤	1	
	○			生態学演習Ⅲ	間嶋隆一,他	2	①・④	1	
	○			生態学演習Ⅳ	間嶋隆一,他	2	②・⑤	1	
		○		地球科学演習Ⅰ	間嶋隆一,他	2	①・④	1	
		○		地球科学演習Ⅱ	間嶋隆一,他	2	②・⑤	1	
		○		地球科学演習Ⅲ	間嶋隆一,他	2	①・④	1	
		○		地球科学演習Ⅳ	間嶋隆一,他	2	②・⑤	1	
			○	環境学術演習Ⅰ	間嶋隆一,他	2	①・④	1	
			○	環境学術演習Ⅱ	間嶋隆一,他	2	②・⑤	1	
			○	環境学術演習Ⅲ	間嶋隆一,他	2	①・④	1	
			○	環境学術演習Ⅳ	間嶋隆一,他	2	②・⑤	1	
最低必要単位数小計								0	8
シ ョ ー ク			自然環境ワークショップⅠ	佐々木雄大,他	1	②・⑤	1		
			自然環境ワークショップⅡ	佐々木雄大,他	2	①・④	1		
	最低必要単位数小計								2
最低必要単位数合計								4	16

- ※1 生態学特別講義を履修した者のみが生態学特別実験を履修できます。なお、生態学特別講義を履修した場合、分子生物学特別講義及び地球科学特別講義を履修することはできません。
- ※2 分子生物学特別講義を履修した者のみが分子生物学特別実験を履修できます。なお、分子生物学特別講義を履修した場合、生態学特別講義及び地球科学特別講義を履修することはできません。
- ※3 地球科学特別講義を履修した者のみが地球科学特別実験を履修できます。なお、地球科学特別講義を履修した場合、生態学特別講義及び分子生物学特別講義を履修することはできません。

ウ 情報環境専攻

授業科目の名称				教員名	配当 年次	ター ム	単位数		備考	
							必 修	選 択		
講 義 コ ア 目	情報環境概論Ⅰ			岡嶋克典, 他	1・2	①	1			
	情報環境概論Ⅱ			中本敦浩, 他	1・2	②	1		教免	
	最低必要単位数小計						2	0		
	情 報 学	数 理 科 学	情 報 学 術							
専 門 講 義 科 目	○	○	○	情報数学特論Ⅰ	中本敦浩, 小関健太	1・2	①		1	教免
	○	○	○	数理物理シミュレーション特論Ⅰ	白崎実	1・2	①		1	教免
	○	○	○	社会における数理科学特論Ⅰ	額田順二	1・2	①		1	教免
	○	○	○	情報数学特論Ⅱ	野間淳, 原下秀士	1・2	②		1	教免
	○	○	○	物理モデリングの数理	山田貴博, 松井和己	1・2	①		1	教免
	○	○	○	数理物理シミュレーション特論Ⅱ	白崎実	1・2	②		1	教免
	○	○	○	社会における数理科学特論Ⅱ	額田順二	1・2	②		1	教免
	○	○	○	数値シミュレーションの数理	山田貴博, 松井和己	1・2	②		1	教免
	○	○	○	情報数学特論Ⅲ	牛越恵理佳, 白崎実	1・2	④		1	教免
	○	○	○	数理アルゴリズム特論	四方順司	1・2	④		1	教免
	○	○	○	情報数学特論Ⅳ	西村尚史, 根上生也	1・2	⑤		1	教免
	○	○	○	数理解析モデリングⅠ	松井和己, 山田貴博	1・2	④		1	教免
	○	○	○	数理解析モデリングⅡ	松井和己, 山田貴博	1・2	④		1	教免
	○		○	人間情報処理Ⅰ	岡嶋克典, 他	1・2	①		1	
	○		○	言語情報処理基礎論Ⅰ	田村直良, 森辰則	1・2	①		1	
	○		○	人工知能特論Ⅰ	白川真一, 長尾智晴	1・2	①		1	
	○		○	セキュリティ情報学Ⅰ	四方順司, 他	1・2	①		1	
	○		○	人間情報処理Ⅱ	岡嶋克典, 他	1・2	②		1	
	○		○	言語情報処理基礎論Ⅱ	田村直良, 森辰則	1・2	②		1	
	○		○	言語情報応用論Ⅰ	田村直良, 森辰則	1・2	④		1	
	○		○	マルチメディア情報学Ⅰ	富井尚志, 他	1・2	④		1	
	○		○	最適化と探索Ⅰ	長尾智晴, 白川真一	1・2	④		1	
	○		○	セキュリティ解析Ⅰ	松本勉, 吉岡克成	1・2	④		1	
	○		○	言語情報応用論Ⅱ	田村直良, 森辰則	1・2	⑤		1	
		○	○	グラフ理論特論Ⅰ	根上生也, 中本敦浩	1・2	①		1	教免
		○	○	代数幾何学特論Ⅰ	野間淳, 原下秀士	1・2	①		1	教免
		○	○	トポロジー特論Ⅰ	西村尚史, 根上生也	1・2	①		1	教免
	○	○	離散数学特論Ⅰ	中本敦浩, 根上生也	1・2	④		1	教免	
	○	○	数理情報特論Ⅰ	小関健太, 中本敦浩	1・2	④		1	教免	
	○	○	代数学特論Ⅰ	原下秀士, 野間淳	1・2	④		1	教免	
	○	○	解析学特論Ⅰ	牛越恵理佳	1・2	④		1	教免	
○			セキュリティ情報学Ⅱ	吉岡克成, 他	1・2	①		1		

			人工知能特論Ⅱ	白川真一, 長尾智晴	1・2	②		1	
			セキュリティ情報学応用	松本勉,他	1・2	②		1	
			マルチメディア情報学Ⅱ	富井尚志,他	1・2	⑤		1	
			最適化と探索Ⅱ	長尾智晴, 白川真一	1・2	⑤		1	
			セキュリティ解析Ⅱ	松本勉, 吉岡克成	1・2	⑤		1	
	○		グラフ理論特論Ⅱ	中本敦浩, 根上生也	1・2	②		1	教免
	○		代数幾何学特論Ⅱ	野間淳, 原下秀士	1・2	②		1	教免
	○		トポロジー特論Ⅱ	西村尚史, 根上生也	1・2	②		1	教免
	○		離散数学特論Ⅱ	中本敦浩, 根上生也	1・2	⑤		1	教免
	○		数理情報特論Ⅱ	小関健太, 中本敦浩	1・2	⑤		1	教免
	○		代数学特論Ⅱ	原下秀士, 野間淳	1・2	⑤		1	教免
	○		解析学特論Ⅱ	牛越恵理佳	1・2	⑤		1	教免
		○	理論言語学基盤論Ⅰ	マーティンロジヤ, 藤井友比呂	1・2	①		1	
		○	理論言語学基盤論Ⅱ	マーティンロジヤ, 藤井友比呂	1・2	②		1	
		○	理論言語学特論Ⅰ	マーティンロジヤ, 藤井友比呂	1・2	④		1	
		○	理論言語学特論Ⅱ	マーティンロジヤ, 藤井友比呂	1・2	⑤		1	
最低必要単位数小計									
								0	8
演習	○	○	○	情報環境演習Ⅰ	森辰則,他	1	①・④	1	専攻共通演習、※1
	○	○	○	情報環境演習Ⅱ	森辰則,他	1	②・⑤	1	専攻共通演習、※1
	○	○	○	情報環境演習Ⅲ	森辰則,他	1	①・④	1	専攻共通演習、※1
	○	○	○	情報環境演習Ⅳ	森辰則,他	1	②・⑤	1	専攻共通演習、※1
	○	○	○	情報数学特論演習Ⅰ	中本敦浩, 小関健太	1	①・④	1	教免、※1
	○	○	○	情報数学特論演習Ⅱ	原下秀士, 野間淳	1	②・⑤	1	教免、※1
	○	○	○	情報数学特論演習Ⅲ	牛越恵理佳, 白崎実	1	①・④	1	教免、※1
	○	○	○	情報数学特論演習Ⅳ	西村尚史, 根上生也	1	②・⑤	1	教免、※1
		○	○	数理物理シミュレーション特論演習Ⅰ	白崎実	2	①・④	1	教免
		○	○	数理物理シミュレーション特論演習Ⅱ	白崎実	2	②・⑤	1	教免
		○	○	数理物理シミュレーション特論演習Ⅲ	白崎実	2	①・④	1	教免
		○	○	数理物理シミュレーション特論演習Ⅳ	白崎実	2	②・⑤	1	教免
		○	○	社会における数理科学特論演習Ⅰ	額田順二	2	①・④	1	教免
		○	○	社会における数理科学特論演習Ⅱ	額田順二	2	②・⑤	1	教免
		○	○	社会における数理科学特論演習Ⅲ	額田順二	2	①・④	1	教免
		○	○	社会における数理科学特論演習Ⅳ	額田順二	2	②・⑤	1	教免
		○		情報学演習Ⅰ	森辰則,他	2	①・④	1	
		○		情報学演習Ⅱ	森辰則,他	2	②・⑤	1	
		○		情報学演習Ⅲ	森辰則,他	2	①・④	1	
		○		情報学演習Ⅳ	森辰則,他	2	②・⑤	1	
		○		数理科学演習Ⅰ	森辰則,他	2	①・④	1	
		○		数理科学演習Ⅱ	森辰則,他	2	②・⑤	1	
		○		数理科学演習Ⅲ	森辰則,他	2	①・④	1	
		○		数理科学演習Ⅳ	森辰則,他	2	②・⑤	1	
		○		離散数学特論演習Ⅰ	中本敦浩, 根上生也	2	①・④	1	教免
		○		離散数学特論演習Ⅱ	中本敦浩, 根上生也	2	②・⑤	1	教免
		○		離散数学特論演習Ⅲ	中本敦浩, 根上生也	2	①・④	1	教免
		○		離散数学特論演習Ⅳ	中本敦浩, 根上生也	2	②・⑤	1	教免

○	グラフ理論特論演習 I	中本敦浩, 根上生也	2	①・④	1	教免
○	グラフ理論特論演習 II	中本敦浩, 根上生也	2	②・⑤	1	教免
○	グラフ理論特論演習 III	中本敦浩, 根上生也	2	①・④	1	教免
○	グラフ理論特論演習 IV	中本敦浩, 根上生也	2	②・⑤	1	教免
○	数理情報特論演習 I	小関健太, 中本敦浩	2	①・④	1	教免
○	数理情報特論演習 II	小関健太, 中本敦浩	2	②・⑤	1	教免
○	数理情報特論演習 III	小関健太, 中本敦浩	2	①・④	1	教免
○	数理情報特論演習 IV	小関健太, 中本敦浩	2	②・⑤	1	教免
○	代数学特論演習 I	原下秀士, 野間淳	2	①・④	1	教免
○	代数学特論演習 II	原下秀士, 野間淳	2	②・⑤	1	教免
○	代数学特論演習 III	原下秀士, 野間淳	2	①・④	1	教免
○	代数学特論演習 IV	原下秀士, 野間淳	2	②・⑤	1	教免
○	代数幾何学特論演習 I	野間淳, 原下秀士	2	①・④	1	教免
○	代数幾何学特論演習 II	野間淳, 原下秀士	2	②・⑤	1	教免
○	代数幾何学特論演習 III	野間淳, 原下秀士	2	①・④	1	教免
○	代数幾何学特論演習 IV	野間淳, 原下秀士	2	②・⑤	1	教免
○	解析学特論演習 I	牛越恵理佳	2	①・④	1	教免
○	解析学特論演習 II	牛越恵理佳	2	②・⑤	1	教免
○	解析学特論演習 III	牛越恵理佳	2	①・④	1	教免
○	解析学特論演習 IV	牛越恵理佳	2	②・⑤	1	教免
○	トポロジー特論演習 I	西村尚史, 根上生也	2	①・④	1	教免
○	トポロジー特論演習 II	西村尚史, 根上生也	2	②・⑤	1	教免
○	トポロジー特論演習 III	西村尚史, 根上生也	2	①・④	1	教免
○	トポロジー特論演習 IV	西村尚史, 根上生也	2	②・⑤	1	教免
○	情報学術演習 I	森辰則,他	2	①・④	1	
○	情報学術演習 II	森辰則,他	2	②・⑤	1	
○	情報学術演習 III	森辰則,他	2	①・④	1	
○	情報学術演習 IV	森辰則,他	2	②・⑤	1	
最低必要単位数小計					0	8
シ ョ ー ク	情報環境ワークショップ I	専攻各教員	1	②・⑤	1	
	情報環境ワークショップ II	専攻各教員	2	①・④	1	
	最低必要単位数小計				2	0
最低必要単位数合計					4	16

※1 情報環境専攻の学生で教育職員免許状の取得を希望する者は、専攻共通の演習として「情報数学特論演習 I～IV」を履修してください。

※2 情報環境専攻の学生は、中専免(数学)又は高専免(数学)の免許状の取得に必要な科目として、理工学府開講の「先進数理科学 確率 A」「先進数理科学 確率 B」「先進数理科学 統計」「数理科学 確率・統計」「数理科学 データ・サイエンス」を選択することも可能です。

## 2 後期課程

### (1) 授業科目と修了について

#### ① 授業科目とプレレキジット

本学府の後期課程の授業科目は、三専攻共通の学府共通科目（環境情報リテラシー科目、環境情報ジェネリックスキル科目）と専攻ごとに異なる専門教育科目（演習、ワークショップ）によって構成されています。また、学生の基礎的知識を補充するためにプレレキジット制度を設けています。

##### ア 環境情報リテラシー科目

分野の異なる教員の協働によって実施し、1つのテーマに対して学際的な文理融合・異分野融合的な視点で議論される様子を学生に示す科目です。

##### イ 環境情報ジェネリックスキル科目

各分野を牽引するリーダー的な人材に必要な汎用な技能と環境情動的な視点による課題発見・課題解決の手法を学ぶために設けられた、他者との協働のためのコンピテンスを修得するための科目です。

環境情報イノベーション特別演習の履修については、オリエンテーション時に説明を行います。

##### ウ 演習

学位取得を目指して専攻内の教員によって行われる研究指導で、複数の教員からなる指導委員会によって学生の専門性を担保する指導を行います。責任指導教員が開講する演習(教育プログラムごとの演習)を履修することが原則ですが、指導委員会が認めた場合には、責任指導教員以外が開講する科目を履修することができます。その際は、履修登録期間内に「責任指導教員以外の演習科目履修申請書」を環境情報学府係に提出し、専攻の許可を得る必要があります。また、短縮修了を目指す場合には、標準的ではない時期に履修する必要があることがあるので、必ず事前に責任指導教員に相談してください。

##### エ ワークショップ

研究指導を行う演習科目と密接に結び付いて、文理融合・異分野融合の視座から自分の研究を吟味するために行われる研究成果の中間発表会です。各専攻から分野の異なる教員が参画し、人工環境、自然環境、情報環境という3つ視点から個々の学生の研究を評価します。また、博士前期課程の学生も含めて行われるワークショップの運営に参画します。短縮修了を目指す場合には、標準的ではない時期に履修する必要があることがあるので、必ず事前に責任指導教員に相談してください。

##### オ プレレキジット

指導委員会が必要と判断した場合、学生は基礎的知識を補充するためにプレレキジット科目を履修することが推奨されます。履修が推奨される授業科目（教養教育科目および教職科目は除く）は、個々の学生ごとに指導委員会が指示します。本科目は修了要件の単位には算入されません。

#### ② 指導委員会

責任指導教員1名と指導教員2名（内1名は自専攻他教育プログラム担当教員）の3名による指導委員会により、研究指導を行います。指導委員会は学生の研究計画にあわせて学生ごとに入学直後に設置し、基本的には修了時まで研究指導を継続します。ただし、「特別ワークショップ I」における議論や演習の実施状況を考慮した結果、入学当初に設定した取得予定学位を変更することが妥当であると指導委員会が判断した場合には、2年次に進学する際に自専攻内で教育プログラムを変更することができるので、責任指導教員に相談してください。

### ③ 指導委員会報告書

学生は、各年次当初に（但し、1年次を除く）、指導委員会報告書（指定用紙有）の研究進捗状況欄を作成し、責任指導教員に提出する必要があります。責任指導教員は、単位の取得および学位論文研究の進捗状況を把握し、評価欄に所見を記載すると共に、学生の修学と研究が適切に進むよう研究指導等を行います。

### ④ 修了関係

#### ア 修了要件及び学位論文執筆要件

修了要件は、博士課程後期に3年以上在学し、教育プログラムごとに定められた履修方法により履修し、次の区分により13単位以上を修得し、修了に関わる授業科目のGPAが2.0以上（7ページ「GPA制度について」参照。）であり、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士學位論文審査並びに最終試験に合格することです。修了に必要な単位は、次の表の通りです。博士論文の作成に関して専攻ごとの規則がありますので、詳細は指導教員または学務委員に確認をしてください。

科目	単位数
環境情報リテラシー科目	1単位以上 ※1
環境情報ジェネリックスキル科目 環境情報イノベーション特別演習 グローバル化特別演習	1単位以上 1単位
専門教育科目 1 演習 2 ワークショップ	以下の1、2を含んで10単位以上 8単位以上 ※2 2単位
プレレジット科目（指定された学生のみ）	
合 計	13単位以上

- ※1 本学府博士課程前期修了生は、博士課程前期に未履修の科目を履修してください。
- ※2 修了に必要な演習の単位については責任指導教員と指導教員の指導に基づき演習科目を履修してください。
- ※3 責任指導教員が認める場合には、10単位を限度として講義科目に限り、本学府の前期課程開設科目、本学大学院他研究科及び他学府（教育学研究科、国際社会科学府博士課程後期、理工学府、都市イノベーション学府）開設科目、単位互換を申し合わせている他大学院研究科開設講義科目の単位を修得できます。上記を希望する者は、あらかじめ責任指導教員と相談し了承を得るとともに、授業担当教員の了承を得てください。

#### イ 取得可能な学位

環境情報学府では、専攻及び教育プログラムによって取得する学位の種類及び履修する専門教育科目が異なります。29ページ「(3)授業科目一覧（後期課程）」から、27ページ「ア 修了要件及び学位論文執筆要件」を満たすように単位を取得する際に、下記の表において、自教育プログラムに○がしてある演習の中から、8単位以上ずつ履修してください。教育プログラムの変更については26ページ「②指導委員会」をご確認ください。

例：人工環境専攻安全環境工学プログラムの学生は、安全環境工学に○がしてある演習を8単位以上履修してください。

専攻名	教育プログラム	学位種
人工環境専攻	安全環境工学	博士（工学）
	環境学	博士（環境学）
	社会環境	博士（学術）

自然環境専攻	生態学	博士（環境学）
	地球科学	博士（理学）
	環境学術	博士（学術）
情報環境専攻	情報学	博士（情報学）
	数理科学	博士（理学）
	情報学術	博士（学術）

### ウ 論文審査スケジュール

学位論文審査手続きとスケジュールは以下のとおりです。

#### 【博士課程後期】

項目	時期＊多少前後する可能性あり				内容
	6月修了	9月修了	12月修了	3月修了	
論文審査申請	2月	4月	6月	10月	環境情報学府係窓口へ必要書類を提出
論文提出期間	4月	7月	10月	1月	環境情報学府係窓口へ論文ほか必要書類を提出
審査期間	↓ 5月	↓ 8月	↓ 11月	↓ 2月	（審査の詳細は担当教員へ確認のこと）
学府教授会による修了認定	6月	9月	12月	3月	—
修了式	6月	9月	12月	3月	学位記授与

学位論文審査に関する手続き方法、正式な日程、提出書類等の詳細はウェブサイト「環境情報学府書式集」にて確認してください。

上記に加え、専攻内での審査手続き（予備審査など）、スケジュールは各自で指導教員へ確認してください。

#### エ 学位論文評価基準

以下の4つの観点に加えて、博士論文の一部が国内外の審査制の学術専門誌に掲載を認められていることを要件とする。

- ① 当該研究領域における関連研究の現状や研究テーマに関連する専門知識を十分理解していること。（専門知識の理解度）
- ② 課題の設定およびそれを解決するための方法論の選択や、仮説構築・検証方法などが妥当であること。（研究方法の妥当性）
- ③ 関連研究と比較して、新規性があり、当該分野の発展や新規研究分野の開設につながる独創的に貢献する研究成果が得られていること。（研究成果の独創性）
- ④ 上記3点を第三者が適切に評価できるように論文が構成されており、適切に表現されていること。（論文の構成・表現の適切性）

## (2) 授業科目一覧（後期課程）

科目によっては履修条件が課せられているものがあるので、履修登録を行う前に必ずシラバスを確認してください。また、各科目の第一回目の授業において担当教員から履修条件が説明されることもあるので、担当教員の指示をよく理解した上で、履修登録を行ってください。

専門教育科目の演習及びワークショップの履修順序について、演習は科目名末尾がⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷの順番で、ワークショップは科目名末尾がⅠ、Ⅱの順番で履修してください。

なお、環境情報イノベーション演習については、Ⅰ、Ⅱいずれか、あるいは順番に関らず両方の履修が認められています。

ワークショップの履修タームについて、通常、4月入学者は1年次の第5タームにⅠ、2年次の第4タームにⅡを履修し、10月入学者は1年次の第2タームにⅠ、2年次の第1タームにⅡを履修してください。

### ① 学府共通科目

#### ア 環境情報リテラシー科目

授業科目の名称	教員名	配当年次	ターム	単位数		備考
				必修	選択	
持続可能社会とFuture Earth	松田裕之, 他	1~3	①		1	
超スマート社会の構築に向けて	長谷部英一, 他	1~3	④		1	
社会インフラにおけるリスクと安全	本藤祐樹, 他	1~3	①		1	
安心社会のための福祉・医療	中井里史, 他	1~3	④		1	
自然災害を考える一過去から未来へ	鳴海大典, 他	1~3	①		1	
イノベーション・マネジメント	周佐喜和, 他	1~3	④		1	
地球科学・生態学の手法	山本伸次, 他	1~3	①		1	
情報学・数理科学の手法	藤井友比呂, 他	1~3	④		1	
最低必要単位数合計					0	1

#### イ 環境情報ジェネリック科目

	授業科目の名称	教員名	配当年次	ターム	単位数		備考
					必修	選択	
	環境情報イノベーション特別演習Ⅰ	松本真哉, 他	1~3	②		1	1単位以上選択
	環境情報イノベーション特別演習Ⅱ	中本敦浩, 他	1~3	⑤		1	
	グローバル化特別演習	学府各教員	1~3	①~⑥	1		※1
最低必要単位数合計						1	1

※1 グローバル化演習は、ショートビジットや海外インターンシップなどの組み合わせによって単位を認定します。履修にあたっては、その時期や内容について責任指導教員とよく相談して計画を立ててください。

② 専門教育科目

ア 人工環境専攻

授業科目の名称			教員名	配当 年次	ター ム	単位数		備考	
						必 修	選 択		
安全 環境 工学	環 境 学	社 会 環 境							
演 習	○		安全環境工学特別演習Ⅰ	中井里史,他	1	①・④	1		
	○		安全環境工学特別演習Ⅱ	中井里史,他	1	②・⑤	1		
	○		安全環境工学特別演習Ⅲ	中井里史,他	1	①・④	1		
	○		安全環境工学特別演習Ⅳ	中井里史,他	1	②・⑤	1		
	○		安全環境工学特別演習Ⅴ	中井里史,他	2	①・④	1		
	○		安全環境工学特別演習Ⅵ	中井里史,他	2	②・⑤	1		
	○		安全環境工学特別演習Ⅶ	中井里史,他	2	①・④	1		
	○		安全環境工学特別演習Ⅷ	中井里史,他	2	②・⑤	1		
		○		環境学特別演習Ⅰ	中井里史,他	1	①・④	1	
		○		環境学特別演習Ⅱ	中井里史,他	1	②・⑤	1	
		○		環境学特別演習Ⅲ	中井里史,他	1	①・④	1	
		○		環境学特別演習Ⅳ	中井里史,他	1	②・⑤	1	
		○		環境学特別演習Ⅴ	中井里史,他	2	①・④	1	
		○		環境学特別演習Ⅵ	中井里史,他	2	②・⑤	1	
		○		環境学特別演習Ⅶ	中井里史,他	2	①・④	1	
		○		環境学特別演習Ⅷ	中井里史,他	2	②・⑤	1	
			○	社会環境特別演習Ⅰ	中井里史,他	1	①・④	1	
			○	社会環境特別演習Ⅱ	中井里史,他	1	②・⑤	1	
			○	社会環境特別演習Ⅲ	中井里史,他	1	①・④	1	
			○	社会環境特別演習Ⅳ	中井里史,他	1	②・⑤	1	
		○	社会環境特別演習Ⅴ	中井里史,他	2	①・④	1		
		○	社会環境特別演習Ⅵ	中井里史,他	2	②・⑤	1		
		○	社会環境特別演習Ⅶ	中井里史,他	2	①・④	1		
		○	社会環境特別演習Ⅷ	中井里史,他	2	②・⑤	1		
			最低必要単位数小計				0	8	
シ ョ ー ク ワ ー ク シ ョ ッ プ			人工環境特別ワークショップⅠ	中井里史,他	1	②・⑤	1		
			人工環境特別ワークショップⅡ	中井里史,他	2	①・④	1		
			最低必要単位数小計				2	0	
			最低必要単位数合計				2	8	

イ 自然環境専攻

授業科目の名称			教員名	配当 年次	タ ー ム	単位数		備考	
						必 修	選 択		
演 習	○		生態学特別演習Ⅰ	間嶋隆一,他	1	①・④	1		
	○		生態学特別演習Ⅱ	間嶋隆一,他	1	②・⑤	1		
	○		生態学特別演習Ⅲ	間嶋隆一,他	1	①・④	1		
	○		生態学特別演習Ⅳ	間嶋隆一,他	1	②・⑤	1		
	○		生態学特別演習Ⅴ	間嶋隆一,他	2	①・④	1		
	○		生態学特別演習Ⅵ	間嶋隆一,他	2	②・⑤	1		
	○		生態学特別演習Ⅶ	間嶋隆一,他	2	①・④	1		
	○		生態学特別演習Ⅷ	間嶋隆一,他	2	②・⑤	1		
		○	地球科学特別演習Ⅰ	間嶋隆一,他	1	①・④	1		
		○	地球科学特別演習Ⅱ	間嶋隆一,他	1	②・⑤	1		
		○	地球科学特別演習Ⅲ	間嶋隆一,他	1	①・④	1		
		○	地球科学特別演習Ⅳ	間嶋隆一,他	1	②・⑤	1		
		○	地球科学特別演習Ⅴ	間嶋隆一,他	2	①・④	1		
		○	地球科学特別演習Ⅵ	間嶋隆一,他	2	②・⑤	1		
		○	地球科学特別演習Ⅶ	間嶋隆一,他	2	①・④	1		
		○	地球科学特別演習Ⅷ	間嶋隆一,他	2	②・⑤	1		
		○	環境学術特別演習Ⅰ	間嶋隆一,他	1	①・④	1		
		○	環境学術特別演習Ⅱ	間嶋隆一,他	1	②・⑤	1		
		○	環境学術特別演習Ⅲ	間嶋隆一,他	1	①・④	1		
		○	環境学術特別演習Ⅳ	間嶋隆一,他	1	②・⑤	1		
		○	環境学術特別演習Ⅴ	間嶋隆一,他	2	①・④	1		
		○	環境学術特別演習Ⅵ	間嶋隆一,他	2	②・⑤	1		
		○	環境学術特別演習Ⅶ	間嶋隆一,他	2	①・④	1		
		○	環境学術特別演習Ⅷ	間嶋隆一,他	2	②・⑤	1		
	最低必要単位数小計						0	8	
	シ ョ ウ ク	自然環境特別ワークショップⅠ		間嶋隆一,他	1	②・⑤	1		
		自然環境特別ワークショップⅡ		間嶋隆一,他	2	①・④	1		
		最低必要単位数小計					2	0	
最低必要単位数合計						2	8		

ウ 情報環境専攻

授業科目の名称			教員名	配当年次	ターム	単位数		備考	
						必修	選択		
演習	○	情報学	情報学特別演習Ⅰ	森辰則, 他	1	①・④	1		
	○		情報学特別演習Ⅱ	森辰則, 他	1	②・⑤	1		
	○		情報学特別演習Ⅲ	森辰則, 他	1	①・④	1		
	○		情報学特別演習Ⅳ	森辰則, 他	1	②・⑤	1		
	○		情報学特別演習Ⅴ	森辰則, 他	2	①・④	1		
	○		情報学特別演習Ⅵ	森辰則, 他	2	②・⑤	1		
	○		情報学特別演習Ⅶ	森辰則, 他	2	①・④	1		
	○		情報学特別演習Ⅷ	森辰則, 他	2	②・⑤	1		
		○	数理科学	数理科学特別演習Ⅰ	森辰則, 他	1	①・④	1	
		○		数理科学特別演習Ⅱ	森辰則, 他	1	②・⑤	1	
		○		数理科学特別演習Ⅲ	森辰則, 他	1	①・④	1	
		○		数理科学特別演習Ⅳ	森辰則, 他	1	②・⑤	1	
		○		数理科学特別演習Ⅴ	森辰則, 他	2	①・④	1	
		○		数理科学特別演習Ⅵ	森辰則, 他	2	②・⑤	1	
		○		数理科学特別演習Ⅶ	森辰則, 他	2	①・④	1	
		○		数理科学特別演習Ⅷ	森辰則, 他	2	②・⑤	1	
			○	情報学術特別演習Ⅰ	森辰則, 他	1	①・④	1	
			○	情報学術特別演習Ⅱ	森辰則, 他	1	②・⑤	1	
			○	情報学術特別演習Ⅲ	森辰則, 他	1	①・④	1	
			○	情報学術特別演習Ⅳ	森辰則, 他	1	②・⑤	1	
			○	情報学術特別演習Ⅴ	森辰則, 他	2	①・④	1	
			○	情報学術特別演習Ⅵ	森辰則, 他	2	②・⑤	1	
			○	情報学術特別演習Ⅶ	森辰則, 他	2	①・④	1	
			○	情報学術特別演習Ⅷ	森辰則, 他	2	②・⑤	1	
	最低必要単位数小計							0	8
	ワークショップ			情報環境特別ワークショップⅠ	森辰則, 他	1	②・⑤	1	
				情報環境特別ワークショップⅡ	森辰則, 他	2	①・④	1	
		最低必要単位数小計						2	0
最低必要単位数合計						2	8		

# V 社会人学生の履修等に関する特例について

本学府では、入学後も社会人の身分を有する学生（社会人学生）に対して、次のとおり履修等に関する特例を実施しています。

## 1 長期履修について

長期履修学生とは、職業を有している等の事情により、標準修業年限（前期課程2年、後期課程3年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修して課程を修了することが認められた者をいいます。

長期履修学生に認定された者は、一般の学生とは異なり、就学年数に関係なく、標準修業年限（前期課程2年、後期課程3年）分の授業料で修学することができます。

また、入学時に長期履修が認められた学生は、一回を限度に在学期間の変更を申請することができます。ただし標準修了年限未滿に短縮することはできません。

手続きを行う時期は、申請は入学手続き時、変更（延長の場合）は当初在学期間満了日の3ヶ月以上前、変更（短縮の場合）は短縮後の論文審査申請時とします。

## 2 修学について

標準修学年限（前期課程2年、後期課程3年）の年数で修了しようとする学生については、原則として全日通学とし、修了要件に必要な講義科目（前期課程は、環境情報リテラシー科目、環境情報ジェネリックスキル科目、コア講義科目、専門講義科目、後期課程は、環境情報リテラシー科目、環境情報ジェネリックスキル科目）を履修してください。

標準修学年限の年数で修了要件に必要な講義等の履修が困難な学生については、指導教員グループもしくは指導委員会の指導のもとに、修学年限を超える年数（前期課程3～4年、後期課程4～6年）の履修計画書をあらかじめ提出してください。

なお、履修計画に変更がある場合には、その都度責任指導教員へ履修計画書を提出してください。

## 3 履修について

講義科目については、時間割で指定された時間帯に履修してください。

演習科目については、開講時間について配慮するので指導教員等に相談してください。

ワークショップについては、開講時間について配慮するので指導教員等または各専攻の学務委員に相談してください。

## VI 教務関係諸手続

### 1 証明書の発行について

証明書の発行方法は、証明書自動発行機での発行または大学院環境情報学府係への申請の2通りがあります。それぞれ交付可能な書類が異なりますので下図を参照してください。

#### (1) 発行方法別発行可能証明書の種類、発行日数

受付窓口等	証明書の種類		発行日数
証明書自動発行機	和文・英文	在学証明書 成績証明書 修了見込証明書	即日
	和文	学生旅客運賃割引証（学割証） 健康診断証明書	
環境情報学府係	和文・英文	修了証明書 在籍証明書	3日後 （休業日を除く）

#### (2) 注意事項

##### ① 証明書自動発行機での発行の場合

- ・発行時に学生証が必要になります。
- ・設置場所は学生センター、経営学部事務棟、理工学部事務棟の3箇所です。

##### ② 環境情報学府係への申請の場合

- ・環境情報学府係に『証明書交付申請書』がありますので、必要事項を記入の上、提出してください。
- ・受け取り時に、学生証を提示してください。

### 2 休学、復学、退学、他大学受験について

#### (1) 休学

- ① 病気、その他の事由により休学を希望する場合は、「横浜国立大学休学許可の基準」に従い、休学願（父母等連署）を提出し、学長の許可を得て休学することができます。（事前に環境情報学府係に申し出て、用紙の交付を受け、休学期間開始日の1ヶ月程度前に手続を行ってください。）
- ② 病気のため、修学が不相当だと認められる学生に対しては、休学を命ずることがあります。（学則第50条を参照。）
- ③ 休学を許可され、その休学期間が満了してもなお、その理由が消滅しない学生は、さらに期間の延長を願い出ることができます。（期間を延長する場合は、あらかじめ環境情報学府係に申し出て用紙の交付を受け、休学期間満了日の1ヶ月程度前に延長の手続を行ってください。）
- ④ 休学期間は、在学期間に算入されません。
- ⑤ 休学期間は、通算して前期課程にあつては2年、後期課程にあつては3年を超えることができません

#### 《参考》

横浜国立大学休学許可の基準（最近改正 平成27年12月16日）

第1 横浜国立大学学則(以下「学則」という。)第50条第4項の規定に基づく休学の許可は、次の各号のいずれかに該当し、引き続き3か月以上欠席を要する者について許可するものとする。

- (1) 本人の疾病又は負傷のとき。(医師の診断書を必要とする。)
  - (2) 本人の出産又は本人の子(法律上の養子を含む。)が3歳に達する日を限度として育児に従事するとき。(出産に関する医師の診断書等を必要とする。)
  - (3) 学資の支弁が困難なとき。(理由書及び事実を証明する書類を必要とする。)
  - (4) 世帯主その他の死亡等により一時的に家業に従事するとき。(理由書及びそれを証明する書類を必要とする。)
  - (5) 家族を看病又は介護するとき。(看病については理由書及びそれを証明する医師の診断書を必要とする。介護については理由書及び証明書を必要とする。)
  - (6) 勤務の都合のとき。(勤務先の証明書を必要とする。)
  - (7) 外国の大学、短期大学又は大学院で学修することが教育上有益と認められたとき。(学修先の大学、短期大学又は大学院について証明する書類及び学修内容の書類を必要とする。)
  - (8) その他教授会においてやむを得ない理由があると認めたとき。(理由を証明する書類を必要とする。)
- 第2 学則第51条第2項及び横浜国立大学大学院学則第22条第3項に規定する理由は、前項第2号に限るものとする。

## (2) 復学

- ① 休学期間中にその事由が消滅したときは、学長の許可を得て復学することができます。(事前に環境情報学府係に申し出て、用紙の交付を受け、復学日の1ヶ月程度前に手続を行ってください。)
- ② 復学した学生は、復学の際に月割計算によるその期の授業料を納入しなければなりません。

## (3) 退学

- ① 退学しようとする学生は、退学願(父母等連署)に詳細な理由書を添えて願い出て、学長の許可を得て退学することができます。(事前に環境情報学府係に申し出て、用紙の交付を受け、退学日の1ヶ月程度前に手続を行ってください。)
- ② 退学する場合は、その期の授業料を納入していなければなりません。
- ③ 退学する学生は、学生証等を返納しなければなりません。

## (4) 他大学受験

- ① 他大学を受験しようとする学生(博士課程前期では1年次、博士課程後期では1・2年次のみ)は、他大学受験願を提出し、環境情報学府長の許可を得て他大学を受験することができます。(事前に環境情報学府係に申し出て、用紙の交付を受け、受験日の1ヶ月程度前に手続を行ってください。)
- ② 他大学受験許可書の発行については、申請をしてから約1ヶ月程度かかるので、余裕を持って申請してください。
- ③ 他大学受験に合格した場合は、速やかに退学の手続きをとってください。

# 3 諸届出について

## (1) 学務部教務課への届出書類

手続書類	期間・期限	添付書類
父母等連絡人変更届	事由が発生したとき	
父母等連絡人住所変更届	事由が発生したとき	
転籍・改姓及び改名届	事由が発生したとき	戸籍抄本
旧姓使用・旧姓併記届	事由が発生したとき	戸籍抄本
学生住所変更届	事由が発生したとき	
本籍変更届	事由が発生したとき	

## (2) 環境情報学府係への届出書類

### ① 海外渡航届

本学の学生が海外渡航を行う場合（外国人留学生で、一時帰国をする場合も含む）、「海外渡航届」を必ず提出してください。渡航先で重大な災害・事件・事故が起きた場合に安否確認を行う必要があるためです。

原則として渡航する1週間前までに提出してください。

※書式は環境情報学府ウェブサイトよりダウンロードできます。

URL : <http://www.kankyo-jimu.ynu.ac.jp/gakugai/kankyo/gakumu.html>

## 4 修了後の諸証明書の交付手続について

郵送と窓口の2つの方法で申請ができます。また、証明書は原則として本人にしか交付いたしません。やむを得ず代理人が交付を申請する場合には、本人からの「委任状」（様式任意）および代理人の身分証明書を添付してください。申請書の様式は横浜国立大学ウェブサイトからダウンロードすることができます。

URL : <http://www.ynu.ac.jp/campus/procedure/certificate.html>

### (1) 郵送申請方法

- ① 「身分証明書の写し」、「申請書」及び「返信用封筒」を環境情報学府係宛てに郵送してください。
- ② 返信用封筒には、住所、氏名を記入し、必要額の切手を貼り付けてください。（切手の金額については、あらかじめ環境情報学府係へお問い合わせください。）
- ③ 証明書の発送日は、申請書類受領から3日後といたします。

### (2) 窓口申請方法

環境情報学府係窓口にお越しいただき、「証明書交付申請書」に必要事項を記入の上、申請してください。交付は申請から3日後といたします。また、受け取りの際には本人確認のため、身分証明書をご持参ください。代理の方がお越しになる場合には、委任状（様式任意）・身分証明書（申請者分・代理人分の両方）が別途必要になります。

※修了後1年以内は無料ですが、それ以降は有料となります。詳細は上記ウェブサイトでご確認ください。

## VII 教員連絡先一覧

### 1 専任教員（50音順）

教員名	研究室	オフィスアワー (曜日・時間)	内線番号	メールアドレス
アメミヤ タカシ 雨宮 隆	総合研究棟 E 603 号室	木曜日 16:30-18:00	4353	amemiya-takashi-jk@ynu.ac.jp
アラマキ ケンジ 荒牧 賢治	環境情報 1 号棟 503 号室	木曜日 14:40-16:10	4300	aramaki-kenji-cr@ynu.ac.jp
アンドウ タカトシ 安藤 孝敏	教育学部第 3 研究棟 710 号室	木曜日 5 限	3270	takatoshi-ando-vf@ynu.ac.jp
イザト ユウイチロウ 伊里 友一郎	化工・安工棟 401 室	火曜日 16:15-17:45	3981	izato-yuichiro-tk@ynu.ac.jp
イトウ アキヒコ 伊藤 暁彦	環境情報 1 号棟 410 室	月曜日 17:00-18:00	3354	ito-akihiko-xr@ynu.ac.jp
ウシコシ エリカ 牛越 恵理佳	-	火曜日 11:00~15:00	4210	-
エンドウ アキラ 遠藤 聡	総合研究棟 S 502 号室	-	-	endo-akira-hx@ynu.ac.jp
オйкаワ ヒロキ 及川 敬貴	環境情報 4 号棟 314 号室	木曜日 3 限 (要メール予約)	4333	oikawa-hiroki-nm@ynu.ac.jp
オオタニ ヒデオ 大谷 英雄	化工・安工棟 304 室	水曜日 4 時限	-	ohtani-hideo-hc@ynu.ac.jp
オオタニ ヒロユキ 大谷 裕之	教育学部第 2 研究棟 408 号室	火曜日 5 限	3364	otani-hiroyuki-gn@ynu.ac.jp
オオヤ マサル 大矢 勝	総合研究棟 S 108 号室	火・水曜日 12:00-13:00	3301	moya@ynu.ac.jp
オカ ヤスシ 岡 泰資	化工・安工棟 303 室	月曜日 10:30-12:00	-	oka-yasushi-tv@ynu.ac.jp
オカジマ カツノリ 岡嶋 克典	総合研究棟 E 404 号室	水曜日 (要メール予約) 14:30-17:00	4432	okajima@ynu.ac.jp
オゼキ ケンタ 小関 健太	教育学部第 2 研究棟 302 室	火曜日 4 限	3414	ozeki-kenta-xr@ynu.ac.jp
カサイ ナオヤ 笠井 尚哉	化工・安工棟 203 室	月曜日 10:00-16:00	3979	kasai-naoya-pf@ynu.ac.jp
カメヤ タカシ 亀屋 隆志	総合研究棟 S 411 号室	火曜日 4-5 限	4190	kameya-takashi-px@ynu.ac.jp
キクチ トモヒコ 菊池 知彦	教育学部第 3 研究棟 511 号室	水曜日 18:00-19:00	-	kikuchi-tomohiko-bk@ynu.ac.jp
クマサキ ミエコ 熊崎 美枝子	-	火曜日 15:00-17:00	-	kumasaki-mieko-pd@ynu.ac.jp
コイケ フミト 小池 文人	環境情報 4 号棟 304 号室	金曜日 13:00-14:00	4356	koike-fumito-nx@ynu.ac.jp
コバヤシ タケン 小林 剛	総合研究棟 E 406 室	木曜日 4-5 限	3775	kobayashi-takeshi-bj@ynu.ac.jp

教員名	研究室	オフィスアワー (曜日・時間)	内線番号	メールアドレス
サカイ アキコ 酒井 暁子	環境情報 3 号棟 208 号室	月～金曜日 13 : 00－18 : 00	4361	sakai-akiko-xw@ynu. ac. jp
ササキ タケヒロ 佐々木 雄大	環境情報 4 号棟 315 号室	随時 (要メール予約)	3596	sasaki-takehiro-kw@ynu. ac. jp
シカタ ジュンジ 四方 順司	総合研究棟 S 202-2 号室	水曜日 14 : 00－17 : 00	4340	shikata-junji-rb@ynu. ac. jp
シモデ シンジ 下出 信次	教育学部第 3 研究棟 415 号室/ (真鶴)臨海環境センター	水曜日 16 : 15－17 : 45	3442	shimode@ynu. ac. jp
シライシ トシヒコ 白石 俊彦	環境情報 1 号棟 213 号室	金曜日 16 : 15－17 : 45	4092	shiraishi-toshihiko-fd@ynu. ac. jp
シラカワ シンイチ 白川 真一	総合研究棟 S 202-4 号室	設定なし	4159	shirakawa-shinichi-bg@ynu. ac. jp
シラザキ ミノル 白崎 実	教育学部第 2 研究棟 216 号室	木曜日 12 : 00－13 : 00 (要メール予約)	-	shirazaki@ynu. ac. jp
スズキ アツシ 鈴木 淳史	環境情報 1 号棟 512 号室	随時 (要メール予約)	3846	asuzuki@ynu. ac. jp
タナカ ヨシミ 田中 良巳	環境情報 1 号棟 504 号室	随時 (要メール予約)	4307	tanaka-yoshimi-vm@ynu. ac. jp
タムラ ナオヨシ 田村 直良	総合研究棟 S 601 号室	木曜日 13 : 30－15 : 00	4161	-
トミイ タカシ 富井 尚志	総合研究棟 S 403 号室	火曜日 14 : 30－17 : 00	4118	tommy@ynu. ac. jp
ナカイ サトシ 中井 里史	環境情報 4 号棟 206 号室	随時 (要メール予約)	4364	nakai-satoshi-dc@ynu. ac. jp
ナガオ トモハル 長尾 智晴	総合研究棟 S 401 号室	水・木・金曜日 12 : 00－13 : 00	4131	nagao@ynu. ac. jp
ナカムラ タツオ 中村 達夫	総合研究棟 S 704-3 号室	金曜日 14 : 40－16 : 10	-	nakamura-tatsuo-tj@ynu. ac. jp
ナカモト アツヒロ 中本 敦浩	教育学部第 2 研究棟 301 号室	月曜日 16 : 15－17 : 45	3384	nakamoto-atsumi-hc@ynu. ac. jp
ナルミ ダイスケ 鳴海 大典	総合研究棟 S 510 号室	木曜日 10 : 00-17 : 00	3719	narumi-daisuke-rs@ynu. ac. jp
ニシムラ タカシ 西村 尚史	-	木曜日 12 : 00－13 : 00 (要メール予約)	3379	nishimura-takashi-yx@ynu. ac. jp
ヌカタ ジュンジ 額田 順二	教育学部第 2 研究棟 614 号室	月曜日 16 : 15－17 : 45	3386	-
ネガミ セイヤ 根上 生也	教育学部第 2 研究棟 613 号室	木曜日 16 : 30－18 : 00	3373	negami-seiya-vj@ynu. ac. jp
ノマ アツシ 野間 淳	教育学部第 2 研究棟 606 号室	木曜日 16 : 15－17 : 45	3380	noma@ynu. ac. jp
ハセベ エイチ 長谷部 英一	教育学部第 1 研究棟 212 号室	水曜日 16 : 15－17 : 45	-	hasebe-eiichi-gs@ynu. ac. jp

教員名	研究室	オフィスアワー (曜日・時間)	内線番号	メールアドレス
ヒラツカ カズユキ 平塚 和之	総合研究棟 S 704-1 号室	水曜日 13:00-14:30 (要メール予約)	4413	hiratsuka-kazuyuki-pz@ynu.ac.jp
フジイ トモヒロ 藤井 友比呂	総合研究棟 S 104 室	水曜日 4 限 (要メール予約)	3282	fujii-tomohiro-xg@ynu.ac.jp
フジイ マキコ 藤井 麻樹子	環境情報 1 号棟 702 室	随時 (要メール予約)	4207	fujii-makiko-jd@ynu.ac.jp
ホンダ キヨシ 本田 清	総合研究棟 E 505 室	金曜日 12:00-13:30	3967	honda-kiyoshi-rb@ynu.ac.jp
ホンドウ ヒロキ 本藤 祐樹	総合研究棟 E 304 室	火曜日 13:30-15:00	-	hondo-hiroki-kc@ynu.ac.jp
マジマ リュウイチ 間嶋 隆一	教育学部別棟 104 室	火曜日 15:00-16:30	3349	majima-ryuichi-ym@ynu.ac.jp
マツイ カズミ 松井 和己	総合研究棟 S 608 号室	月曜日 16:30-18:00	4344	kzm@ynu.ac.jp
マツダ ヒロユキ 松田 裕之	環境情報 4 号棟 105 号室	随時 (要メール予約)	4362	matsuda-hiroyuki-vj@ynu.ac.jp
マツミヤ マサヒコ 松宮 正彦	教育学部第 2 研究棟 207 室	木曜日 16:15-17:45	3464	matsumiya-masahiko-dh@ynu.ac.jp
マツモト シンヤ 松本 真哉	教育学部第 2 研究棟 419 号室	火曜日 16:30-18:00	3366	matsumoto-shinya-py@ynu.ac.jp
マツモト ツトム 松本 勉	環境情報 1 号棟 703 号室	月・木曜日 10:30-12:00	4133、 4134	tsutomu@ynu.ac.jp
マーティン ロンジャー	総合研究棟 S 501 号室	金曜日 16:15-17:45	3375	martin@ynu.ac.jp
ミヤケ アツミ 三宅 淳巳	化工・安工棟 404 室	火曜日 15:00-18:00	3993	miyake-atsumi-wp@ynu.ac.jp
ミヤザキ タカシ 宮崎 隆	教育学部第 1 研究棟 321 号室	火曜日 16:15-17:45	3440	tamiyaza@ynu.ac.jp
モリ タツノリ 森 辰則	総合研究棟 S 603 号室	木曜日 14:40-16:10	4132	mori@forest.eis.ynu.ac.jp
ヤスモト マサノリ 安本 雅典	総合研究棟 S 508 号室	火曜日 14:30-16:00 (要メール予約)	-	yasumoto-masanori-ky@ynu.ac.jp
ヤマダ タカヒロ 山田 貴博	総合研究棟 S 605 号室	木曜日 16:15-17:45	3864	-
ヤマモト シンジ 山本 伸次	環境情報 4 号棟 305 室	10:00-18:00	4498	yamamoto-shinji-sp@ynu.ac.jp
ヨシオカ カツナリ 吉岡 克成	環境情報 1 号棟 910 室	水曜日 10:00-12:00	3690	yoshioka@ynu.ac.jp
ワニ リョウジ 和仁 良二	教育学部第 2 研究棟 107 号室	火曜日 14:40-16:10	-	-

※ オフィスアワーとは、教員が学業等の相談に応じるために、研究室等で待機している時間帯です。

※ 内線番号はダイヤルイン番号の下 4 桁と共通になっています。

0 4 5 ( 3 3 9 ) × × × × (ダイヤルイン番号)

## 2 非常勤講師

教 員 名	本 務 先 等	電話番号	E-mail アドレス
カネコ ノブヒロ 金子 信博	〒960-1248 福島県福島市金谷川1 国立大学法人福島大学 農学系教育研究組織設置準備室	-	nobuhirokaneko@mac.com

## VIII 環境情報学府の学生相談関係教員

環境情報学府では、責任指導教員並びに指導教員以外に、学生相談関係教員がおりますので、相談してください。

### 専攻長名簿

専攻	氏名	内線	メールアドレス	研究室
人工環境専攻	中井 里史	4364	nakai-satoshi-dc@ynu.ac.jp	環境情報 4 号棟 206 号室
自然環境専攻	石川 正弘	3348	ishikawa-masahiro-nh@ynu.ac.jp	環境情報 4 号棟 310 号室
情報環境専攻	岡嶋 克典	4432	okajima@ynu.ac.jp	総合研究棟 E 404 号室

### 学務委員名簿

専攻	氏名	内線	メールアドレス	研究室
人工環境専攻	笠井 尚哉	3979	kasai-naoya-pf@ynu.ac.jp	化工・安工棟 203 室
	荒牧 賢治	4300	aramaki-kenji-cr@ynu.ac.jp	環境情報 1 号棟 503 号室
	遠藤 聡	3791	endo-akira-hx@ynu.ac.jp	総合研究棟 S 502 号室
自然環境専攻	和仁 良二	3688	wani@ynu.ac.jp	教育学部第 2 研究棟 107 号室
	中森 泰三	4357	nakamori-taizo-gc@ynu.ac.jp	環境情報 3 号棟 304 室
情報環境専攻	吉岡 克成	3690	yoshioka@ynu.ac.jp	環境情報 1 号棟 910 室
	原下 秀士	4209	harashita-shushi-nr@ynu.ac.jp	環境情報 1 号棟 718 室

### 就職担当教員名簿

専攻	氏名	内線	メールアドレス	研究室
人工環境専攻	松本 真哉	3366	matsumoto-shinya-py@ynu.ac.jp	教育学部第 2 研究棟 419 号室
	安藤 孝敏	3270	takatoshi-ando-vf@ynu.ac.jp	教育学部第 3 研究棟 710 号室
自然環境専攻	中村 達夫	4416	nakamura-tatsuo-tj@ynu.ac.jp	総合研究棟 S 704-3 号室
	佐々木 雄大	3596	sasaki-takehiro-kw@ynu.ac.jp	環境情報 4 号棟 315 号室
情報環境専攻	田村 直良	4161	tam@ynu.ac.jp	総合研究棟 S 601 号室
	中本 敦浩	3384	nakamoto-atsuhiko-hc@ynu.ac.jp	教育学部第 2 研究棟 301 号室

## IX その他

研究災害傷害保険（賠償責任保険付帯）

- ・この保険は、教育研究活動中（通学中等含む）の不慮の災害事故保証並びに損害賠償に備えるため、学生が安心して学生生活を送れるよう学生の全員加入をお勧めします。

（詳細については、『学生便覧』に記載されていますのでご参照ください。）

